	No. 5 -	1 基本事務事	業名総合	合計画推進	進事務	事務事	業名 総合	合計画推進事	務	公的队	5 1 シ	一卜作成日 平成24	年7月5日
	部局名		総務部		課名	企画語		主務課長		吉田一			森 章司
	事業区分	● 1 ソフト事		0	3 経常的事務事		5 補助3	金·負担金·支	援事	業運営方法	+ 🔽 1 🖺		全部委託
	尹未匹刀	○ 2 ハード		0	4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その)他 事	未连占刀/			補助等
		基本構想(政			共に築くまちづく			実施計画			事業	の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施			続可能な地域経常		O	1 該当	平			成 28 年 🗌 期	間設定なし
		主要施策	(3)	効率的で	が持続可能な財政	運営の推	i進 O	2 非該当	根	拠法令等	阿波市議	会の議決すべき事件を	E定める条例
		対象(誰を、 何を)	市民·職										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし -	最終的	本計画が します。	、すべての市民に	自分のま <i>を</i>	5づくり計i	画として親しまれ	1、市民の	∌画·協働	のもとに未来	その阿波市を築いて行く	ための計画に
P L		たいのか)			波市総合計画後期		•	年~平成28年	度)を策定	きる。			
Α					1ますか。(主なも		,						
Ν					るための「参画・協								
	事業の				するための「地域約	圣営の総合	計針」						
	活動内容				「阿波市の主張」								
												19年度~平成28年度(か10年間
					づき、今後推進す^		東を各分						
		指標名	<u> </u>		スは指標設定理由	単位	+ 	平成 22	牛及	平风	23 年度	平成 24 年度	最終目標
	数值目標	設定できない		総合計画 のため	策定の本体事務		目標 実績						
	(事業の目的 及び活動内			07/207			目標						
	容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会 計		一般	会計	款	2 総利	多費	項	1 総務	管理費	目 6 企画費	
			平	成 2	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24	年度予算	備考	
		国庫支出			千円			千円			千円		
		県支出	金		千円			千円			千円		
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円		
D	五汉子未兵	その他特定則			千円			千円			千円		
0		一般財	源		0 千円			5,177 千円			0 千円		
		計(A)	7 # -	100	0 千円			5,177 千円	0.655		0 千円		
		正職員工数·絲		400 人	2,450 千円	0.400	人	2,418 千円	0.300	人	1,788 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000	<u> </u>	0.000	, ,	0	0.000		0		
	△/+ 声 [×]	臨時·嘱託工数·	経 算 0.	000 人	0 千円		<u> </u>	0 千円 7,595 千円	0.000	人	0 千円		
	王冲手	業費(A + B)			2,450 千円			一 7,595 十円			1,788 千円		

						ック項目					一次	マ評価			·次評価の]		二次	評価	Į.
		1 .						が確保できる等 を響は大きくな		0 !	少ない	① 大	きい	条例で定	められてい	る		0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政状	犬況の「	中、次年	度以降実	[施す	る緊急性が認	忍められない。	O 7	ない	● ある	3					0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の向	句上の#	ために、∃	現在の手段	设、方	法等の改善の急	余地がある。	O i	ある	ない	1					0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの 上回るサート				[隣自	治体と比較し	ノてニーズを	O 1	,13	• 1,17	îl I					0	เาอ	•	いない
		1 .	施策の目的を顕	実現する	るために、	事業内容	₹が必	ずしも適切と	はいえない。	0 1	ハえない	● いき	દેક	本市のま		基本된	里念を	0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	/ネリ化	どなど、旅	策への貢	献度か	が著しく高いと	はいえない。	Ο ι	ハえない	O 117	દેઢ	73.7 002				0	いえない	•	いえる
С	姓	3 .	市が実施する	5施策(の中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	O -	する	○ した	î l l					0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続を	Eして=	も成果の	向上が期	得で	きない。		0 .	できない	● で 	₹ る					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	すしてi	生捗状 況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に比	べて劣って	いる	目指すべた施策を	き将来像 講じていま		て必要	0	目標に比り	バて劣	っている
	達世	2 .	目標設定に対	すしてタ	成果があ	まり上か	べって	いないと思う	ò.	O a	あまり上か	べっていない		A NEW C	押している	. 9 .		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	すしてホ	既ね目標	を達成し	てい	ると思う。		● #	既ね達成	している						•	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	すして-	十分に目	標を達成	はして	いると思う。		0 -	十分達成	えしている						0	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べて	こコス	トが高い	١,				O i	高い	● 適	当	基本構想やすく理解				0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	なり!	ウハウや	新たな制	度を	活用できる。		O .	できる	○ で き	きない	また、新た	こな推進方	法や	策定の	•	できる	0	できない
	性	3 .	予算・人員と	:成果(の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	O i	ある	ない	1	ためのコ があります		. 労 の・	る必要	0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	7方法(の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	也がある。	O i	ある	ない	1					0	ある	•	ない
						_	次評	** *								次評(-				
	評值	点面	必要性	有	効性	達成原	芰	効率性	総合評	価		<u>必要性</u> ◢	1	有効性	達成度	麦	効率性	±	総	合評	<u>·</u> 価
	今後	きの		実工	<u>4</u> ● 現状	<u>3</u> }維持		<u>3</u> 方法改善		£.等	0	 拡大·ȝ	宝	4 ┃ ● 現状	3 ` 維持		<u> 3 </u> 方法改善	ŧ	○ 民間	<u>A</u> [委]	£等
Α		9性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止	0 101-321		O			統合/終			発止/休	-	0 201		<u> </u>
c				-									二次	(評価での	指摘事項	及び	一次評	価と	の相違点	Ţ	
T I O			総合計画に基また、市民との					事務事業評価	i との調整が必	要です		午毎に笙	≑⁺₺	これ後期基	木 計画 に	せべき	5	ν+α ±3	作 た 図 って	· T +	
N	改革と実計	€行	基本構想の実 と戦略的な取	₹現に向 り組み	ーーー 句け、計画 の推進を	画の進行f E図Uます	三 き理 。	 E行い、全庁—	体となった施気	である での推議	生	十反に尔	ÆC1	いた反射を	学可凹,に	全 ノ(∶、心來∪	フュ圧以	뜨건지 기 (rc	V 1 ₀
		員会 事項																			

	No. 5 -	2 基本事務事業	名 適正	こな土地和	引用の推進事務	事務事	業名 開刻	発許可事務		公的関与 4 シ	ノート作成日 平成24	年7月5日
	部局名		総務部		課名	企画記		主務課長				田正和
	事業区分	○ 1 ソフト事		•	3 経常的事務事			金·負担金·支		運営方法 2		全部委託
	争来应力	○ 2 ハード事			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その	D他 TT			補助等
		基本構想(政策			の充実したまちて			実施計画			能の開始·終了	
	総合計画	基本計画(施第			れた土地利用の	推進	<u> </u>	140	平成			引設定なし
		主要施策	(2)	適正な土	地利用の推進		0	2 非該当	根抗	処法令等 国土利用	法、阿波市開発事業の調	整に関する条例
		対象(誰を、 何を)	見発行為	をしようと	する者							
		目的(どうい り) おりままして	最終的	適切な土	地利用の制限を行	iい、良好な	(住環境の	の整備を指導し	ます。			
P L		たいのか) 2	今年度									
ΑZ					1ますか。(主なも	の5つま	で)					
Ν		開発行為の										
	事業の				する条例(H17施							
	活動内容	農地法、建	築基準	法、消防法	t、景観法、都市計	画法、その)他関係法	去令との調整を	行い適切な	指導を行います。		
		+12+=1.27		-1	7 	1 24/2		TI CT 00	左曲	ᄑᄙᇮᄯᄨ		
		指標名		計昇 丸义	(は指標設定理由	単位	口抽	平成 22	干贤	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標
	数值目標	開発行為の指示 (目標値の設定なし)	申請書届	出による	件(m²)	目標 実績	7 (1 1	- 1 5 7)	6 (495,510)		\
	(事業の目的 及び活動内		,				目標	/(11	, 137)	0 (493,310)		
	容の達成度						実績					
	を測る指標)						目標					
							実績					
	予算費目	会計		一般	会計	款	2 総	务費	項	1 総務管理費	目 6 企画費	
				成 2	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 年度予算	備考	
		国庫支出			千円			千円		千円]	
			金		千円			千円		千円		
	直接事業費		債		千円			千円		千円	_	
D	五汉子未兵	その他特定財			千円			千円		千円		
0			源		116 f F			151 千円		309 fr		
		計(A)	走 2.1	250 1	116 千円			151 千円	0.050	309 FF		
	1 /4 建 / D)	正職員工数·経		250 人	1,531 千円	0.250	人	1,511 千円	0.250 ノ	1,490 千円	<u> </u>	
	人件費(B)	臨時·嘱託職和 臨時·嘱託工数·経		000 人	0 千円	0.000	1	0 千円	0.000 /	0 千円	1	
	全休事	<u>岡守・隅む上数・経</u> 業費(A+B)	:貝 U.(JUU /	1,647 千円		<u> </u>	1,662 千円		1,799 千円	_	

			チェック項目		— ;	次評価	一次評価の説明	二次	評価
		1 .	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	● 大きい	地域における適正な開発事業の 実施に関する調整を行います。	○ 少ない	● 大きい
	必要	2 .	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	ある	また、事業者本人の意識によって、手続きや事業進捗の状況が	○ ない	ある
	女性	3 .	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	0	ある	● ない	左右されます。	ある	○ ない
		4 .	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	•	いる	○ いない		ा ।	● いない
		1 .	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	•	いえない	○ いえる	現在及び将来の市民への健康 で快適な環境確保に寄与しま	● いえない	○ いえる
	有効	2 .	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえない	○ いえる	す。また、手続き等の前に建築	○ いえない	● いえる
C H	性	3 .	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。		する	● しない	等の行為が行われる事例も見られます。 このことにより、規制が	○ する	● しない
Е		4 .	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できない	● できる	かからず、指導による調整となってしまうことがあります。	○ できない	● できる
C K		1 .	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	とべて劣っている	適正かつ迅速に審査事務を行い ます。	○ 目標に比べ	べて劣っている
	達世	2 .	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0 ;	あまり上	がっていない	- A 9 .	○ あまり上が	っていない
	成度	3 .	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	• 1	概ね達点	成している	<u> </u>	● 概ね達成	している
		4 .	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0 -	十分達	或している		○ 十分達成	している
		1.	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適当	他部局との連携を行います。	○ 高い	● 適当
	効率	2 .	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	● できない	<u> </u>	○ できる	● できない
	华性	3 .	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	ない		ある	● ない
		4 .	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	● ない		೦ ಹತ	● ない
			一次評価				二次評価		
	評值	点面	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価		必要性 3	有効性 達成度 効率 <mark> </mark> 3 3 4	生総	合評価
	今後	後の			С			基 	<u>し</u> 引委託等
Α		匀性	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止)縮小 ○	統合/終期設定 〇 廃止/休	止	
С			•			二次	〈評価での指摘事項及び一次評	価との相違点	Į.
TIO	当課		土地利用計画(都市計画・用途地域・建築主事の確認区域等)の策定時 扱い要領(手引き)の見直しを行います。	には、		/ ハナ ヘ ハ - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		- / - / - / - / - / - / - / - / - / - / - /	
Ν	改革と実計	草案 尾行 画	農業振興地域整備計画、土地利用計画、阿波市環境基本条例等との整 図ります。	合性を		が太マヤ巾用チ	8条例に基づき、適切な指導を行っ	C \ /2 & b 1,	
		員会 事項							

	No. 5 -	3 基本事務事業	名 適正	な土地利	川用の推進事務	事務事	業名国	上利用計画推:	進事務	公的関与	1 シ	ート作成日	平成24年	年7月5日
	部局名	絲	総務部		課名	企画	淉	主務課長	名	吉田一夫	シー	- 卜作成者名	大	:森章司
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事		5 補助:	金·負担金·支	援	美運営方法		営	3	全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その)他 The state of the state of	R.连 占 기 仏		-部委託	4 补	輔助等
		基本構想(政策			の充実したまちて			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策	, , , , , , , , , , , , ,		れた土地利用の		0		平月		~ 平		✓ 期間	設定なし
		主要施策	(1) 🗆	上地利用	計画の策定及で	ゾ総合調		2 非該当	根	拠法令等	国土利用	計画法		
		対象(誰を、 何を)	土利用記	画法に	定める届出が必要	要な土地取	引や阿波	市の全地域						
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし	是終的 =	上地利用	計画の策定に向け	けた調整と、	関係機関	関への指導等						
P L		たいのか) 🤌			計画の策定を行い			を図るため、庁内	为関係課 <i>σ</i>	連絡調整を行	ういます。			
ΑZ					\ますか。(主なも									
N					1て、住宅地・農地							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	事業の				、土地利用調査の						ひ見直しに	関する基本的	な方針を	定めます。
	活動内容				者の住民への説		月確にし、	土地利用の誘導	尊を進めま	<u>す。</u>				
		国土利用計	画·市町	村計画の)策定を行います。									
		北井市力	د ا	-1 **		1 11 11		TI CT 00	左曲	ਜ਼ ਦੀ ੦੦	左曲	TI C 0.4	左曲	
		指標名			は指標設定理由		口抽	平成 22	<u> </u>	平成 23	干歧	平成 24	午 <u>吳</u>	最終目標
	数値目標	設定できない		用述列や 自効利用:	地域別に、土地の を図る	'	目標 実績							
	(事業の目的 及び活動内			נו וניוער ב	<u>сы о.</u>		目標							
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会計	•	一般:	 会計	款	2 総	· 务費	項	1 総務管理	里費	目 6	企画費	
			平原	ኒ 22	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 年	度予算		備考	
		国庫支出金			千円	3		千円			千円			
			金		千円	3		千円			千円			
	直接事業費		責		千円			千円			千円			
D	五汉于未兵	その他特定財源			千円			千円			千円			
0			原		千円			3,470 千円			0 千円			
		計(A)			0 ∓P	and a second		3,470 千円			0 千円			
	1 /4L 241 / = 3	正職員工数·経動		25 人	766 千円	0.300	人	1,813 千円	0.125	人	<mark>745</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時・嘱託職種		20	0	0.000			0.000		0 -			
	人生主义	臨時・嘱託工数・経	費 0.00	00 人	0 千円		人	0 千円	0.000	人	0 千円			
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	業費(A + B)			766 千円	J		5,283 千円			<mark>745</mark> 千円			

					チェ	ック項目					_	次評価	Į.	_	-次評価の	の説明	月		二次	.評価	4
		1 .						「確保できる等 <u>(響は大きくな</u>		0	少ない	•	大きい	いため、	計画が策! 本計画の3			0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の中	中、次年	度以降実	€施す	る緊急性が認	3められない。	0	ない	•	ある	す。	地の有効を	Fil FFF 1-	- 限して	0	ない	•	ある
	性	3 .	住民満足度の	句上のた	:めに、 I	現在の手段	设、方	法等の改善の余	余地がある。	0	ある	•	ない	は、事業	者本人の	意識は	こよっ	0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの 上回るサート				「隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	•	いない	て、その? れます。	効率や必要	要性も	左右さ 	0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現する	らために、	事業内容	₹が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえなし	.1	いえる		、産業活 地域環境			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	/ネリ化	など、施	節策への貢	献度加	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	.1	いえる	り、将来位	象を実現す			0	いえない	•	いえる
С	性	3 .	市が実施する	6施策 ∅	の中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	です。				0	する	•	しない
OHEOK		4 .	事業の継続を	Eしても	ら成果の	向上が期	待て	ごきない。		0	できなし	1	できる					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	付して近	발 拨状况	が劣って	こいる	らと思う。		0	目標に	比べて劣	っている	国土利用	計画を策	定。		0	目標に比べ	べて劣	っている
	達成	2 .	目標設定に対	すして瓦	 戊果があ	まり上が	べって	いないと思う	, ,	0	あまり上	がってい	ない					0	あまり上が	ってい	ない
	度	3 .	目標設定に対	付して相	既ね目標	を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達	成してい	გ					0	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	付して┤	十分に目	標を達成	tして	いると思う。		0	十分達	成してい	13					0	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べて	こコスト	トが高い	١.				0	高い	•	適当		よる規制 者等の持			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	*のノウ	ナハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できない	に対して	は、法令の)根拠	lがある	0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員と	:成果の	D関係で	、実施手	段等	を見直す余地	かある。	•	ある	0	ない	な調整を	行えない(行うことは			•	ある	0	ない
		4 .	電子化や契約	的方法(の変更な	どにより	コス	スト削減の余地	りがある。	0	ある	•	ない	思われま	きす。			0	ある	•	ない
							次評									次評					
	評化	点面	必要性		効性 4	達成原	芰	効率性	総合評	7価		必要f 4	生	有効性 4	達成月		<u> </u>	生	総	合評	価
	今征	多の			<u>4</u> ● 現状	<u>3</u> 徐維持		<u>3</u> 方法改善		托等			<u></u> て・充実		<u>3</u> 	0	<u>。</u> 方法改善	Ę.		_ <u>^</u>]委i	 £等
Δ		句性	○ 縮小		充合/終		Ō	廃止/休止	0 101-321)縮小		統合/終			廃止/休				
Ĉ			1 m 0 # '# '	-1-+ -+	- D 7 = 3	#### ^ I	ш 4л	1. 年轻的人会员		+ -+	+		二次	マ評価での)指摘事项	頁及で	ゾー次評	価との	の相違点	į	
ACTIO	課	計画の推進には、市民や事業者等の理解と積極的な参画が必 課題 民や事業者、関係機関等に対してその趣旨の徹底が必要です また、 です は です は です は です は に です は に です は に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に							まり。 	2			皮市国土利			されました	:。今征	後、この言	十画に	こ基づき、	
Ν	と国		関係法令など 画を基本とし 市のホーム	て、土地	也利用の	計画的な	調整	を行います。	ど土地利用に「	関する	3計 土	地利用	の計画的	りな調整を	図って下る	Σ(1 °					
		員会 事項																			

	No. 5 -	4 基本事務事	業名 市民	憲章及び市の)花·木·鳥普及拍	佳進事業	事務事業	作民!	憲章及び市の花	·木·鳥	普及推進事業	公的関与	4 シ	一卜作成日 平	成24年7月	月5日
	部局名		総務部		課名	i	企画調	₹	主務課	長名	lin.	吉田一夫	シ-	-卜作成者名	矢田]	E和
	事業区分	○ 1 ソフト		•	3 経常的	事務事業	美	5 補助3	全·負担金·	支援	車茶	重営方法	✓ 1 直	営	3 全部	委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の約			6 内部管	管理事務·−	その他		生百刀仏		-部委託] 4 補助	等
		基本構想(政					J		実施計画	則				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施			きちづくりの:				1 該当			17 年	~ 平	·成 年 🔽	」期間設定	主なし
		主要施策	(1)多様な分)野における	5参画・	協働の促	Ľ進 ●	2 非該当		根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	市民													
	事業の 対象・目的	目的(どうい) う状態にし	最終的	5箇条か かなもの	らなる「阿波 とし、魅力あ	市民憲章	章」の精神 まちであり	が、市民 続けるよ	一人ひとり(う、後世に引	の日々 き継い	ァの生活に いで行きま	定着するこ す。	とにより、	「私たちのまち・阿	波市」をよ	り美しく豊
P L		たいのか)	今年度		€の「選定委! 紙、ホーム/							鳥の名称が	制定される	ました。このことに	より、そのに	内容·主
Α		具体的にどの	りようなえ	活動を行い	1ますか。(主なもの	か5つまて	<u>~</u>)								
Ν		H19年度の	「選定委員会	会」での審議に	より、阿波市市	民憲章と市	iの花·木·鳥の	の名称が制	定されました。こ	このことに	により、その内	容・主旨を広幸	段紙、ホーム/	ページ、CATV等を通じ、	市民に周知し	っています。
	事業の	阿波市主	要公共的	を設に対し、	、「市民憲章	表示板」	を作成・携	曷示してい	ます。							
	活動内容	適時に、	各種イベ	ント等の開	催に合わせ	た苗木・	種や記念	品(サン	プル)等の配	一布や	周知活動を	を実施します	١.			
		指標領	3		ては指標設定		単位		平成 2	22 年	度	平成 23	年度	平成 24 年	度 康	終目標
	数值目標	広告入り花の種の (目標値の設定な)配布		イベント等) 同	司時配	個	目標			-		-			
	(事業の目的	(日信他の設定な	. ()	布				実績		00	(40)		- (40)	40	(40)	
	及び活動内 容の達成度	市民憲章表示板技	曷示	公共施設	t(A1・A3サ	イズ)	個	目標			(A3)		9、(A3)	49,	(A3)	
	谷の建成度 を測る指標)			△ // c □	ケクキャク	4-11-		実績		49、	(A3)		9′ (Y 3)			
		種・苗木の配布			年行事に合え ごコスモス種袋		本·個	目標 実績			-		-			
	予算費目	会 計		一般	会計		款	2 総別	務費		項 1	総務管理	里費	目 6 企画	費	
			직	P成 2	2 年度	決算	平成	23	年度決算	拿	平成	24 年	度予算	1	備考	
		国庫支出	金			千円			Ŧ	一円			千円			
		県 支 出	金			千円			Ŧ	一円			千円			
	直接事業費	地方	債			千円			Ŧ	一円			千円			
D	且以于未具	その他特定則				千円			1	一円			千円			
0		一 般 財	源			千円				一円			千円			
		計(A)				0 千円			0 7				0 千円			
		正職員工数・		.125 人	76	<mark>6</mark> 千円	0.125	人	756 1	-円 (0.125 人		<mark>745</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		000		_	0.000									
	人生主	臨時・嘱託工数・ 坐費(A+B)	経費 0	.000 人		0 千円 6 千円	0.000	人	0 1		0.000 人		0 745 千円			
	工1小手	三首 (A + K)			/h	n +#1			/5h =	-			/45 +HI	Ī		

					- チェ	ック項目						次評	/ m		_	-次評価(か試に	18		二次	並備	1
		1	市が宝施した	かくても			世か	が確保できる等	・ 他の宝施							に定着す						
		' '						/ 響は大きくな			少ない	•	大き	11	魅力ある				\circ	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の中	、次年	度以降第	[施す	^{ける緊急性が認}	忍められない。	0	ない	0	ある						0	ない	•	ある
	性	3 .	住民満足度の	向上のたる	めに、	現在の手段	段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ(上回るサー				「隣自	目治体と比較し	J てニーズを	0	いる	•) いな	١,					0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現する	ために、	事業内容	字が必	がずしも適切とに	はいえない。	•	いえなし	1 0	いえる	3	魅力ある	美しいま?			0	いえない	•	いえる
	有	2 .	事業内容のマ	ンネリ化な	i ど、旅	延策への貢	献度/	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	1 0	いえる	3	9 20 6 6 7.	J. 知1寸 C C	3 4 9	0	0	いえない	•	いえる
С	効性	3 .	市が実施す	る施策の	中で類	似・重複	した	上事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	, 1	† 				0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続	をしても	成果の	向上が期	持て	できない。		0	できなし	1 0	できる	3					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に	対して進	捗状況	が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	3		いた推進	事業に	は実施で	0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2 .	目標設定に	対して成	果があ	まり上か	べって	こいないと思う		0	あまり上		ハない		きていま	9 。			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に	対して概	ね目標	を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達								•	概ね達成	してい	రె
	į	4 .	目標設定に	対して十	分に目	標を達成	tして	こいると思う。		0	十分達				•				0	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べ	てコスト	が高い	١.				0	高い	0	適当		別の効率			を考慮す	0	高い	•	適当
	効	2 .	他の実施主	体のノウ	ハウヤ	新たな制	度を	<u></u> ∈活用できる。		0	できる	0	できた	はい	る必要か	あります。			0	できる	•	できない
	率性	3 .	予算・人員	と成果の	関係で	:、実施手	-段等	手を見直す余地	也がある。	•	ある	С	ない						•	ある	0	ない
		4 .	電子化や契約	約方法の	変更な	どにより) コフ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない		Ì				0	ある	•	ない
							次評	2価								<u> </u>	次評	価				
	並行	西点	必要性	有效]性	達成	芰	効率性	総合評	<u>′</u> 価		必要	性	1	与効性	達成	芰	効率	生	総	合評	価
			4	3		3		3	A			4			4	3		3	_	^ =	A	- h-h-
		色のは	○拡大・発			大維持 ##=175		方法改善	〇 民間委託	<u> </u>			大·充	_		大維持 ##=0.5		方法改善		○ 民間]委i	<u>t</u> 等
Α	יות	1性	○ 縮小	○ 統	百/於	期設定	0	廃止/休止) 縮	<u>۱</u> ۱٬		統合/終 評価での		_	廃止/休		の担治は		
C	当正	5 A	推進の手法に	について、	考慮す	する必要性	ŧがあ	5ります。(例:┌	市内各所の案内	勺看机	反.		-	火	計画での	が旧例争り	貝区(ゲー人計	TЩ C (の作連点	\	
TI	課						チーフ	フを追加する。 タ	公園等へのモニ	ニュメ	ント											
ō	HZIV	. ACZ.	(表示入り石	枉等)の記	せ 直な	٤)					I,					—						
Ν	改革	案										民意	識を高	める	よう、よりタ	効果的な問	学発・	広報に努	めて	下さい。		
	と事	[行	全ての課にな	おいて、推	進でき	る場面を	常に	考えます。														
	計	画																				
	委員指摘	員会 事項																				

	No. 5 -	5 基本事務事	業名男	女共同参阅	画推進事務	事務	事業名	男女共同参	画推進	基事務	公的	関与 1	シート作成	戊日 平成24 ^年	年7月5日
	部局名		総務部		課名	企	画課	主務詞	课長名	7	吉田 -	-夫 シ	ソート作成	者名 枝流	澤正彦
	事業区分	○ 1 ソフト		•	3 経常的事務	事業	○ 5補	助金·負担金	è·支捷	爰 事 3	美運営方	<u>;</u> ±	直営	□ 3 至	È部委託
	争未区刀	○ 2 ハード			4 施設の維持		〇 6 内	部管理事務	・その	他	F 建吕刀		一部委託		前助等
			/		共に築くまちて			実施計	画				業の開始		
	総合計画	基本計画(施	,	,	多画社会の形			● 1 該当		平月			平成		設定なし
		主要施策	(2))男女共同	参画社会への意	意識改革	の推進	○ 2 非該	<u>当</u>	根	拠法令等	手 男女共	同参画社会	会基本法	
		対象(誰を、 何を)	市民、行	〕 政、企業、	市民団体										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		発活動や学校教 共同参画社会の3				じ、男3	女共同参问	画の視点	に立った社会	会制度·慣行	〒の見直しや意	識改革を推進
P L		たいのか)	今年度	男女共同	参画社会への意	意識改革を	E推進しま	きす。							
Α		具体的にどの	りような氵	活動を行い	\ますか。(主な	きの5つ	まで)								
Ν		講演会の	開催												
	事業の	広報紙で	の啓発活	舌動											
	活動内容														
		指標名	<u> </u>	計算式又	なは指標設定理	由単位			22 4		平成	23 年度		24 年度	最終目標
	数値目標	「男女共同参画社	会」という		女共同参画基本計		目			100		10	00	100	100
	(事業の日の)	用語の周知度			より(平成21年度~)	実								
	及び活動内 容の達成度	「男女雇用機会均 う用語の周知度	等法」とい		<i>''</i>	%	目			100		1(00	100	100
	谷の達成度 を測る指標)						実			400		4.0	20	100	100
	CM3 O 1 E 1M7	「DV防止法」とい 知度	う用語の周		<i>''</i>	%	目			100		10	00	100	100
	予算費目	会計			会計		実統 款 2	頌 総務費		項	1 総発	管理費		6 企画費	
	」/ 异貝口	五	য	P成 2					1笛	平成	24	百年貝 年度予算		<u> 0 止凹貝</u> 備考	
		国庫支出		<u> </u>		<u>・</u> 円 一 円 ル	χ <u> </u>	十尺八	千円	⊥11%	24		円		
		県支出	金			円			千円						
		地方	債			円			千円			<u>'</u> 千			
D	直接事業費	その他特定則				円			千円			· 于			
ō		一般財	源			円		36	千円			<u>551</u> ∓			
		計(A)			0 ∓				千円			551 ∓			
		正職員工数・	経費 0	.000 人	0 =		50 人		千円	0.100	人	596 ∓			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯	战種							·	-				
		臨時·嘱託工数·	経費 0	.000 人	0 T	円 0.00	00 人	0	千円	0.000	人	0 ∓	円		
	全休事	坐費(A+R)			<u>0</u> =	Щ		338	千円			1147 丰	Щ		

					手⊤	ック項目					_	次評(/ m		_	-次評価(ク戦	18		二次	1111年	ī
		1	市が宝施した	かくて			二性 カ	が確保できる領	年の宝施							参画社会						
		١.						/ 響は大きくな		\circ	少ない		大き	11		ために必			\circ	少ない	•	大きい
	必要	2 .						る緊急性が認		0	ない	•	ある		す。	,			0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上の)ために、	現在の手段	殳、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない		Ĭ				0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ(上回るサー)				「隣自	目治体と比較し	J てニーズを	0	いる	•	いな	: L 1					0	เาอ	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	字が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえなり	,1 (いえ	る		参画意識 有効な事			0	いえない	•	いえる
	有	2 .	事業内容のマン	ンネリ	化など、放	施策への貢	献度/	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	,1 0	いえ	る	1001CIA	円別は事	未し	9 。	0	いえない	•	いえる
С	効性	3 .	市が実施する	る施策	その中で 数	頁似・重複	夏した	上事務事業が存	存在する。	•	する	0	しない	l I					0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続を	をして	も成果の	D向上が期	月待て	できない。		0	できなり	.1 •	でき						0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	対して	進捗状況	兄が劣って	こいる	らと思う。		0	目標に	比べて纟	劣ってい	13		を増やし ればなら			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2 .	目標設定に対	対して	成果があ	あまり上か	バつて	こいないと思う		0	あまり上	がってし	ハない		ますが、ヨ	現時点での	の人員	員では概	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	対して	概ね目標	票を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達				ね達成し	ていると思	思いま	:す。	•	概ね達成	してい	రె
		4 .	目標設定に対	対して	十分に目	目標を達成	はして	いると思う。		0	十分達								0	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	てコス	くトが高い	١٥				0	高い		適当	á		(共同参画			0	高い	•	適当
	効	2 .	他の実施主任	本のノ	/ ウハウギ	<u>*</u> b新たな制	順度を	<u></u> E活用できる。		0	できる	0) でき;	ない	進を図っ 画担当職	ていくには 銭員を配置	t、男 する	女共同参 などの人	0	できる		できない
	率性							手を見直す余り	 也がある。	0	 ある	0	ない			が要と思				 ある		ない
	11	4 .	電子化や契約	約方法	もの変更な	こどにより	コフ	スト削減の余地	 也がある。	0	 ある	0	ない		•				0	 ある	•	ない
							次評	· 在								_	次評	価				
	±π/:	#.L	必要性	1 1	 有効性	達成		効率性	総合評	4価		必要	性	T 7	 有効性	達成			生	紁	合評	価
		点面	4		3	3		3	Α			4			4	3		3			Α	
		色の	○ 拡大·充	_	● 現場		0	方法改善	〇 民間委託	托等	(大·充	実	_	犬維持		方法改善	-		多	〔等
Α	方向	付性	○ 縮小	0	統合/終	期設定	0	廃止/休止) 縮	<u>小</u>	0	統合/終		•	廃止/休			_	
С														二次	評価での)指摘事项	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点		
Т	当回	<u></u> 回の	里女が共にな	十会参	画するた	めの環境	条件	#等の整備が心	必要と思われま	- d-												
I	課	題		149	П 7 07С	03 03 222-36	, ,,,,	1 (3 (V) IE III (3 (2	J & C/0/17100													
0			1 15 - N/4 / -		!= !!.								男女共	中	吉本基画	画の方針	と数分	値目標の	達成し	こ向け、事	業を	推進して
Ν		案	人権事業を実施 ます。	施して	いる担当説	#を統合し、	総合	的に事業を実施	する方が効果的	と思れ	oれ ト	さい。										
		行	県内他市で			センター) に	以外人	、権課が担当。徳	協島県においても	保健	福祉											
	計		部人権推進課	が担当	á.																	
		員会 事項																				

	No. 5 -	6 基本事務事業名	定住化促進	事務	事務事業	名 定信	i化促進事務		公的関与	8 シ	一卜作成日 平成24年	₹7月5日
	部局名	総	務部	課名	企画課		主務課長領	名	吉田一夫			森章司
	事業区分	1 ソフト事業		- 11-11-11-11-1			金·負担金·支		 美運営方法			全部委託
	争来应力	○ 2 ハード事		4 施設の維持管理		内部管	管理事務·その	D他 Table Table Ta	K连口/J/A			助等
		基本構想(政策		の充実したまちづ	(1)		実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策						平月		~ 平		設定なし
		主要施策	(3)定住促让	進施策の検討∙推進	 ■	0	2 非該当	根	拠法令等	阿波市空	き家情報登録制度要綱	
		対象(誰を、 何を)	皮市に定住を希									
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最う状態にし		PU·Iターン者等の新 顕策を検討し、その推			する空き家の朝	斡旋や、宅	地の取得や値	主宅建設の	支援など、定住促進の	ための効果的
P L			年度									
ΑZ				ハますか。(主なもの	の5つまで)						
Ν			情報及び利用									
	事業の	空き家等情報	そのホームペー	ジ等による情報発信								
	活動内容											
		15 IF 5	1 + 1 666 12 12		W 45		T	4 1	T -1	4	T	
		指標名	計算式》	又は指標設定理由	単位	□ + =	平成 22		平成 23		平成 24 年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	空き家情報の登録	有効利用	月の度合いを図る	件数	目標 実績		5 3		5 2	5	
	及び活動内 容の達成度	利用希望者の登録	定住促進	並による地域活性化	件数	目標 実績		5 6		5 9	10	
	を測る指標)					目標						
						実績						
	予算費目	会計	一般	会計	款	2 総教	务費	項	1 総務管理	浬費	目 6 企画費	
				22 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 年	度予算	備考	
		国庫支出金		千円			千円			千円		
		県支出金		千円			千円			千円		
	直接事業費	地 方 信		千円			千円			千円		
D	五汉子从兵	その他特定財源		千円			千円			千円		
0		一般財源	Į.	千円			千円			千円		
		計(A)	3 0.400 1	0 千円	0.400		0 千円	0.400		0 千円		
	人件費(B)	正職員工数·経費 臨時·嘱託職種		1,017 千円	0.100		604 千円	0.100	<u>۸</u>	<mark>596</mark> 千円		
	八計頁(D)	臨時·嘱託工数·経費		0 千円	0.000		0 千円	0.000	<u></u>	0 千円		
		<u> </u>	0.000 /	1,017 千円	0.000 /	\	604 千円	0.000 ,	,	596 千円		

				チェ	ック項目				— %	次評価		_	-次評価の	D説E	明		二次	評価	
		1 .				が確保できる 影響は大きく <i>が</i>		0	少ない	大	:きい	高まって	:田舎暮らし おります。i	市とし	ても定	0	少ない	*	きい
	必要	2 .	厳しい財政状	状況の中、次年	F度以降実施 [*]	する緊急性が誇	認められない。	0	ない	● あ	3)ため、空き ことは必要			0	ない	あ	3
	女性	3 .	住民満足度の向	与上のために、	現在の手段、	方法等の改善の	余地がある。	•	ある	○ な	l I	派法する	てこる必要	z C 9	0	0	ある	○ な	١٦.
		4 .		○低下がみら∤ ごスとなってレ		自治体と比較し	してニーズを	0	เาอ	• 11	ない					0	เาอ	• 11	ない
		1.	施策の目的を調	実現するために	、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	• 11	える		き家情報は			0	いえない	• 11	える
	有効	2 .	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	施策への貢献度	が著しく高いと	はいえない。	•	いえない	0 11	える	も少ない	ことから定	住促	進への	0	いえない	• 11	える
C H	性	3 .	市が実施する	6施策の中で類	頃似・重複し	た事務事業が不	存在する。	0	する	○ <i>U</i> :	ない	頁献度	は低いと考え	えます) ,	0	する	• U	ない
Е		4 .	事業の継続を	としても成果の	の向上が期待	できない。		0	できない	● で	きる					0	できない	で	きる
C K		1 .	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		0	目標に比	べて劣って	เกล		せはありa が無いため ^っ			0	目標に比り	ヾて劣って	เกอ
	達世	2 .	目標設定に対	付して成果があ	あまり上がっ	ていないと思う	Э .	0 :	あまり上が	がっていない	١	ず、直接	定住促進	こつた		0	あまり上が	っていない	1
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成して	ハると思う。		O 7	概ね達成	えしている		いるとは	いえません	<i>'</i> 。		0	概ね達成	している	
		4 .	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		O .	十分達瓦							0	十分達成	している	
		1 .	効果に比べて	コストが高い	l _o			0	高い	適	i当		き家情報			0	高い	● 適	i当
	効率	2 .	他の実施主体	*のノウハウ*	か新たな制度	を活用できる。		•	できる	O 0	きない	業ではあ	りません。	他市	町村で	•	できる	O で	きない
	性	3 .	予算・人員と	に成果の関係で	で、実施手段	等を見直す余均	也がある。	0	ある	な	l I		が行ってい ŧ界と連携 ⁻			0	ある	な	. L 1
		4 .	電子化や契約	的方法の変更な	ょどによりコ .	スト削減の余均	也がある。	0	ある	な	l I	分でもあ	ります。			0	ある	な	١٦.
					一次記			•						次評					
	評値	点面	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	7価		必要性	1	<mark>与効性</mark> 4	達成原	Ž	効率性	生	総	合評価	İ
	今後	きの しんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	3 ○ 拡大·充	3 実 ⊙ 現∤	<u> 3</u> 犬維持 ○	<u>」 3</u> · 方法改善	○ 民間委請	托等	0	3 拡大∙∶	 充実		<u>2</u> 	()	<u> 3 </u> 方法改割	Ę.		B 多託等	 年
Α		9性	_	○ 統合/終					O			統合/終			廃止/休				
C			穴き宏性却担		ーレレ (共)12.	個レ岱オ側レの	タ件に隠たけん	w # 11	六		二次	評価での)指摘事項	及で	ゾー次評	価との	の相違点	Ţ	
T O	当課	題	空さ家情報提 渉が成立して 者を確保する	いません。空き	家情報制度を	則と負り削との E続けるにあた	条件に隔たり <i>た</i> っては、空き家	トのリ、情報提	供	主杀妇 之	·I⊏ ♦ त	- ス細談窓	口の充実を	⊊ [⊠] -	って下さい				
Z	改造と第		空き家情報提 進に結びつけ		:努め、空き家(情報制度を充写	星させることで、	定住仍		上印王日	IC 7.3 9	o THIX/配		· 🗠 -	, C 1. CV1	0			
		員会 事項																	

	No. 5 -	7 基本事務事	業名自治	台会関係	事務	事務事	業名自治	台会育成振興	費交付事	務公	的関与 9 シ	一卜作成日 平成2	4年7月5日
	部局名		総務部		課名	企画	课	主務課長	名	吉田	一夫 シ -	-卜作成者名 木	支澤 正彦
	事業区分	○ 1 ソフト	事業		3 経常的事務事	業	5 補助3	金·負担金·支	援	業運営	L \		全部委託
	争未应力	○ 2 ハード		0	4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その)他	未建合		-部委託	補助等
					、共に築〈まちづ [、]	(I)		実施計画				の開始・終了	
	総合計画				ティ活動の促進		0			成 17		成 年 🕗 期	間設定なし
		主要施策	(3))コミュニラ	ティ活動の活性化	支援	O	2 非該当	相	見拠法令	等 阿波市自	治会育成振興費交付	要綱
		対象(誰を、 何を)	市内各自	治会									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	自治会内]のあらゆる行事及	び活動を値	足進し、さ	らには自治会員	相互の=	ミュニケ	⁻ ーションを図るこ	とを目的としています	0
P L		たいのか)			が成振興費を交付す			会の自主的活動	かを促進し	ます。			
A					ハますか。(主なも								
Ν					地域社会の維持及				治会に対	して振興	興費を交付します	0	
	事業の				実施する自治会に								
	活動内容				施する自治会に対								_
					る事業を実施する目				•				
					事業を実施する自		て振興賞		F		* <u>/ / / / / / / / / / / / / / / / / /</u>		
		指標領	<u>5</u>	_	スは指標設定理由		□ +m	平成 22	牛医	平点	丸 23 年度	平成 24 年度	最終目標
	数値目標			交付事務	らのため、指標を設 せん	自治会	目標		377		371		
	(事業の目的			たてらる	C 70.		実績 目標		311		3/1		
	及び活動内 容の達成度						実績						
	を測る指標)			+			目標						
							実績						
	予算費目	会 計		— 般	会計	款	2 総	 条費	項	1 総	務管理費	目 6 企画費	掛
			직		2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24	年度予算	備考	
		国庫支出	金		千円			千円			千円		
		県 支 出	金		千円]		千円			千円		
	直接事業費	地 方	債		千円]		千円			千円		
D	且汉尹未貝	その他特定則			千円			千円			千円		
0		一 般 財	源		45,059 千円			44,491 千円			45,450 千円		
		計(A)			45,059 千円			44,491 千円			45,450 千円		
	 	正職員工数・		.300 人	1,838 千円	0.300	人	1,813 千円	0.300	人	1,788 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		000		0.000			0.005				
	۸ ۷ = ۱	臨時·嘱託工数·	経費 0	.000 人	0 千円 10.007		人	0 千円	0.000	人	0 千円		
	全体事業管	業費(A + B)			46,897 千円			46,304 千円			47,238 千円		

				チ:	ェック項目				一次	に評価		_	-次評価の	り説り	月		二次	評価	
		1 .				が確保できる等 影響は大きくな		0 4	少ない	大き	きい	を進めて	シ画した協ſ いくために	は自	治会の	O :	少ない	• 7	大きい
	必要	2 .	厳しい財政権	犬況の中、次年	丰度以降実施	する緊急性が詞	忍められない。	O to	ill.	ある	3		要不可欠 るために			O :	ない	• a	5 る
	女性	3 .	住民満足度の「	向上のために、	現在の手段、	方法等の改善の	余地がある。	⊙ å	5 5	○ ない	١	を促進りれます。	る <i>に</i> めに	4.心安	そこぶわ	O (ある	O to	îl I
		4 .		の低下がみられ ごスとなってL		自治体と比較し	J てニーズを	O 1	13	● 11ts	î۱۱					0 1	113	• ı	ない
		1 .	施策の目的を	実現するために	、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	O 1	えない	● いえ	ia	財政基盤や活動を	弦の弱い自 促進する/	治会に	の行事	0	いえない	• ı	える
	有効	2 .	事業内容のマン	ソネリ化など、	施策への貢献度	が著しく高いと	はいえない。	• ı	えない	O 117	i a		われます。		- 13/03/04	0 1	いえない	• ı	える
С	性	3 .	市が実施する	る施策の中で	類似・重複し	た事務事業が存	存在する。	ं वृ	する	しな	î l l	Ī				O .	する	Ο (ない
HE		4 .	事業の継続を	をしても成果の	の向上が期待	できない。		0 7	できない	● でき	£ 3					O .	できない	• 7	できる
C K		1 .	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		O E	標に比	べて劣ってし	いる		動等を促			O 1	目標に比り	べて劣っ	ている
	達世	2 .	目標設定に対	付して成果がる	あまり上がっ	ていないと思う	ò.	O #	まり上か	「っていない		いる部分	が多分に	あり、	現在、	0 8	あまり上が	っていな	L1
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね目	漂を達成して	いると思う。		根	既ね達成	している		▼目標を選 す。	成している	と思	われま	• †	概ね達成	している	
		4 .	目標設定に対	付して十分に	目標を達成し	ていると思う。		• +	分達成	している						O -	十分達成	している	
		1 .	効果に比べて	てコストが高い	, 1,			〇 高	高い	● 適当	当		動を促進 ⊁の検討を			O i	高い	• ji	適当
	効	2 .	他の実施主体	本のノウハウ ⁻	や新たな制度	を活用できる。		• 7	できる	○ でき	ない		はあると思			O .	できる	0 7	できない
	率性	3 .	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施手段	等を見直す余り	也がある。	● a	5る	○ なi	١	1				•	ある	O to	j.ll
		4 .	電子化や契約	的方法の変更を	などによりコ	スト削減の余均	也がある。	O #	5 5	ない	١					0 :	ある	• t	j.l1
					一次記					•				次評					
	評値	点面	必要性 3	有効性	達成度	効率性	総合評	価	Ų	必要性	1	<mark>与効性</mark> 4	達成原	麦	効率性	生	総	合評值	<u> </u>
	今後	後の		<u> 3</u> E実 ● 現:	│ 4 伏維持	<u> 2 </u>	○ 民間委託	£等	0		 天実		<u>3</u> 	0	<u>2</u> 方法改割	Ē.			
Α		9性			終期設定			<u> </u>	0	縮小		統合/終			廃止/休	_			
C						治会員相互の					二次	評価での)指摘事項	及び	バー次評	価との)相違点	Ţ	
TIO	課		が多くなってき りを進めていく	ています。地域:	コミュニティの希: なコミュニティの:	募金等のみに振り 薄化が進んでいる 形成の検討も含め れます。	3中、今後、協働	のまちつ	が つ 地域				治会の果		と割は大き	きいもの	のがあり	ます。	振興費
N	改革と実計					での活動が困難 気を検討する必				京 効活用に	こつい	て、検討し	してください	۱,					
		員会 事項																	

	No. 5 -	8 基本事務事	業名自治	台会関係	事務	事務事業	業名 自治	台会長会開催	事務	公的関与	8 シ	ート作成日	平成24年	7月5日
	部局名		総務部	3	課名	企画記	果	主務課長	名	吉田一夫		-ト作成者名		罩 正彦
	事業区分	● 1 ソフト		0	3 経常的事務事			金·負担金·支		業運営方法		[音]		部委託
	争未匹力	○ 2 ハード		0	4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その	D他 事	未连占刀仏		-部委託	4 補	助等
					、共に築〈まちづ〈	IJ		実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施			ティ活動の促進		0	1 該当	平		~ 平	·成 年	」期間	設定なし
		主要施策	(3)コミュニラ	ティ活動の活性化	支援	O	2 非該当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	市内各自	自治会長										
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	コミュニテ	- イ意識の高揚、コミ	ュニティ活	動の活性	生化を目的としま	ます。					
P L		たいのか)			状報告と各自治会			後の行政施策に	反映させる	ることを目的と	:しています	Γ.		
A N					いますか。(主なも	の5つま	で)							
Ν					現状を報告します。									
	事業の	各自治会	長から地	地域の問題	点等を伺うとともに、	それに対	しての市	からの回答及び	び報告を行	·います。				
	活動内容													
		+12.4.		1 ± 1 55 = ± 7		27 / 7		TI CT 00	左曲	₩ 00	左曲	₩ ₩ • •	左曲	
		指標領	<u> </u>	計算式/	スは指標設定理由	単位	□ 	平成 22	<u>年度</u> 387	平成 23	<u>年度</u> 385	平成 24	千 <u>吳</u> 384	最終目標 384
	数値目標	自治会長会参	加者数	自治会数	Į	人	目標 実績		196		179		364	304
	(事業の目的 及び活動内						目標		190		179			
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般	会計	款	2 総利	多費	項	1 総務管	理費	目 6	企画費	
			직	P成 2	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 年	度予算		備考	
		国庫支出			千円			千円			千円			
		県 支 出	金		千円			千円			千円			
	直接事業費	地方	債		千円			千円			千円			
D	五汉于未兵	その他特定原			千円			千円			千円			
0		一般財	源		319 千円			316 千円			758 千円			
		計(A)			319 千円			316 千円			758 千円			
		正職員工数・		.300 人	1,838 千円	0.300	人	1,813 千円	0.300	人 1	<mark>,788</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託聯		222	_	0.000			0.655					
	۸ / ۱ = ۱	臨時·嘱託工数·		.000 人	0 千円	0.000	人	0 千円		人	0 千円			
	全体事	業費(A + B)			2,157 千円			2,129 千円		2	<mark>,546</mark> 千円			

				チェ	ック項目				_	次評值	<u> </u>		_	·次評価(の説	明		二次	評価	
		1 .		くても、公平 事業を廃止・				0	少ない	•	大きい	7	自治会長	犬報告を行 長からの意	見·提	言等を伺	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政状	状況の中、次年	E度以降実施で	する緊急性が詞	忍められない。	0	ない	0	ある			5民の声を では重要で		こ反映し	0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の向	う上のために、	現在の手段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない				•		•	ある	0	ない
		4 .)低下がみられ ごスとなってい		自治体と比較し	J てニーズを	0	113	•	いない						0	เาอ	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえない	1 •	いえる			↑、また市[政施策を			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	/ネリ化など、旅	施策への貢献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1 0	いえる			事業だと思			0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施する	6施策の中で類	類似・重複した	に事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない						0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続を	としても成果の)向上が期待で	できない。		0	できない	1 •	できる						0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣っている	ると思う。		0	目標に	比べて針	らっている			へまた自治 の意見等を			0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2 .	目標設定に対	けして成果があ	5まり上がって	ていないと思う	٥.	•	あまり上	がってい	ない	行	す政施策 は		ていく	という、広	•	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね目標	悪を達成してい	ると思う。		0	概ね達	成してい	Nる	ij	、概ね達	成されてい	136	思われま	0	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	付して十分に目	標を達成して	ていると思う。		0	十分達	成してい	13			ュニティ活動 はあまり成り			0	十分達成	してい	პ
		1 .	効果に比べて	コストが高い	١.			0	高い	•	適当			が意識の高 生化を図る			0	高い	•	適当
	効	2 .	他の実施主体	なのノウハウギ	の新たな制度を	を活用できる。		•	できる	0	できなし	八人		更を検討す			•	できる	0	できない
	率性	3 .	予算・人員と	に成果の関係で	ご、実施手段等	等を見直す余 ^½	也がある。	•	ある	0	ない		3171 CA 9	0			•	ある	0	ない
		4 .	電子化や契約	方法の変更な	こどによりコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
					一次評									_	次評					
	評値	点面	必要性 3	有効性	達成度	効率性	総合評	7価		必要	性		<u>効性</u> 4	達成原	芰	効率1	生	総	合評	価
	今後	きの しんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	3 ○ 拡大·充	•	 2 犬維持	<u> 2 </u>	B ○ 民間委詞	托等			 大·充宴		<u>4 </u> ● 現状	<u>2</u> 維持	\bigcirc	<u>2</u> 方法改善	Ė		B 引委部	 任等
Α		9性	○ 縮小	○ 統合/終		廃止/休止		<u> </u>)縮/			充合/終			廃止/休	-			
C			(コミュニティ丼	 旦当として)								次評	<u>′</u> 価での	指摘事项	頁及で	ゾー次評	価との	の相違点	į	
TIO	課	題		会長会は広報 識の高揚、活動			能に修正する必	要がる	市							広聴する るよう、事				
Z			事業内容の変	Σ更。(講演会等	等の開催、自治	会活動の事例	紹介など)			ださい。		1 /1	ii ±11 ∨2/L	11210101	_,,	У Ф Л Э	-**	c ∨ J II 7	' ٺ ر ر	V#10 C
		員会 事項																		

	No. 5 -	9 基本事務事	業名ま	ちづくり団体	X補助金関係事務	事務事業	業名 まち					 年7月5日
	部局名		総務部		課名	企画記	•	主務課長		吉田 一夫		矮澤 正彦
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金·負担金·支				全部委託
	尹未匹刀		事業		4 施設の維持管理		6 内部	管理事務∙そ0	D他 事 ^{事 ,}			補助等
		基本構想(政	(策) 6.	共に生き、	共に築〈まちづ〈	I)		実施計画			業の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施			きづくりの推進			1 該当	平月			間設定なし
		主要施策	(5)市民団体	、ボランティア等(の育成	O	2 非該当	根	拠法令等 阿波市	īまちづくり団体補助金交 ^ん	付要綱
		対象(誰を、 何を)	地域に重		めの研修又は地域ス							
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的		団体が行政の補助 行えることを目的と			の経費で活動を	図れるよう	自立し、行政と協働の	のうえ、独創的・個性的な	まちづくりの推
PL		たいのか)	今年度	なまちづく	(りの推進を図ること	ができる	まちづくり				た民と行政が一体となり、	独創的·個性的
ΑZ					1ますか。(主なも		,					
Ν					カ事業を実施するま							
	事業の				事業を実施するまち							
	活動内容				5動事業を実施する							
					動事業を実施する							
					動事業を実施するま		団体に対し					
		指標名	<u> </u>		は指標設定理由	単位		平成 22	年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標
	数値目標				自主申請であるた	団体	目標					
	(事業の目的			の、指標を	設定できません。		実績		30		28	
	及び活動内						目標					
	容の達成度 を測る指標)						実績					
	CM3 G3G1M)						目標		-			
	予算費目	会 計			<u> </u>	款	実績 2 総	 夕弗	項	1 総務管理費	目 6 企画費	
	」′ 异貝口	云 引	Ī	P成 2		平成	23	^{ヵ貝} 年度決算	平成			
		国庫支出		T11X Z	4 千及八 异 千円	⊤ 13%	25	<u> </u>	T11X		·円	
		県支出	金		千円						·円	
		地方	債		千円						·円	
D	直接事業費	その他特定則			千円			<u> </u>			·····································	
0		一般財	源		1,485 千円			1,400 千円		1,600 ∓		
		計(A)			1,485 千円			1,400 千円		1,600 T		
		正職員工数・総	経費 0).250 人	1,531 千円	0.250	人	1,511 千円	0.250	人 1,490 千		
	人件費(B)	臨時·嘱託暗						,		, , , , , ,		
	,	臨時·嘱託工数·).000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人 0 千	·円	
	全体事	業費(A + B)			3.016 千円			2.911 千円		3.090 ∓	· H	

					チェ	ック項目					_	次評(西		_	一次評価	の説	明		二次	評価	lj .
		1 .						「確保できる等 <u>後響は大きくた</u>		0	少ない	•	大きに	١,	ら、当分	の間は事		る観点か E施する	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	犬況の中	、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある		ことが必	要です。			0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上のた	めに、ヨ	見在の手段	设、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						•	ある	0	ない
		4 .	住民ニーズ(上回るサー)				[隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない	1					0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現する	ために、	事業内容	が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,1 💿	いえる	5	財政基盤の育成に	盤の弱い。 対し有効			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリ化な	よど、施	策への貢献	献度が	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,1	いえる	5	V) F) 13,7 (C	->10 10 %	J.O. J.	* C 7 °	0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施する	る施策の	中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	١					0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続を	をしても	成果の	向上が期	待で	ごきない。		0	できなし	1 0	できる	5					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	付して進	捗状況	が劣って	์เาอ	と思う。		0	目標に	比べて纟	劣ってい	る	まちづくしが寄与し)団体ので			0	目標に比べ	バて劣	っている
	達世	2 .	目標設定に対	付して成	果があ	まり上が	「って	いないと思う	ò.	•	あまり上	こがってに	ハない		るが、最	終的に団	体の	自立を図	•	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概	ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達	成してい	113			観点から 動できる			0	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	付して十	分に目	標を達成	tして	いると思う。		0	十分達	成してし	113		自立でき われます	ていない -	のがヨ	見状と思	0	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べる	てコスト	が高い	۰				0	高い	•	適当		補助金多	を付決定額 要綱の見			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	本のノウ	ハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できた	۱۱۱	討の余地				0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員の	ヒ成果の	関係で	、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	•	ある	0	ない						•	ある	0	ない
		4 .	電子化や契約	的方法の	変更な	どにより	コス	(ト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
							次評	** *									二次評					
	評值	点面	必要性 3	有效		達成月	甚	効率性 3	総合評 B	" 価		<u>必要</u> 3		₹	与効性 4	達成 2	度	効率 3	生	総	<mark>合評</mark> B	·価
	今後	きの しょうしょう	<u>○ 拡大·</u> 芬		· 現状			<u> </u>	○ 民間委i	托等	(大·充	 実	•	<u> </u>	0	<u>」</u> 方法改善		○ 民間		 托等
Α		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止				縮		0		期設定	0	廃止/休				
С			油助に 捕らる	*レ±白自	の奴選	で活動な	.⊠±	2 ト3白☆	行政と協働の	37 7	Хth		_	二次	評価での)指摘事	項及7	び一次評	価との	の相違点	Ţ	
T O		面の !題		なまちづ	くりの推				11政と励製のたとしているが、何		て	1 +:	_>:千番h +	がシニ・	th that is	5. 車架守	⊋旋床	容につい ⁻	てt会≕	! ! ァエキ		
Z	とヨ	革案 官行 ·画	団体自身の経 自立が図られ 等の施策を実	てきている	と認めら	られる団体	につい	ハては、補助金額	事業の対象外と 額について上限で	し、ま を低くす	た、	124 076	_/U <i>∃</i> //	. []	121000	ハ ザ未え	נישוו		C1X0	3 0 C FC	V 10	
		員会 事項																				

	No. 5 -	10 基本事務事業	名 コミニ	ιニティ助原	找事業(宝⟨じ)戛	事務	阝務事業	名 コミ:	ュニティ助成事業	業(宝(じ)	事務	公的関与 9	シ	- 卜作成日	平成24	年7月5日
	部局名	約	総務部		課名		企画課		主務課長	名	吉田	一夫	シー	卜作成者名	枝	澤正彦
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務			補助3	金·負担金·支	援	杂温 。	当方法 🗀	」1 直	* *	3 :	全部委託
	争未区刀	○ 2 ハード事			4 施設の維持		. 0 6	5 内部管	管理事務・その	D他 ^事	未建品	5万本		部委託		補助等
		基本構想(政策	,						実施計画					の開始・終う	7	
	総合計画	基本計画(施策	, , ,		- ィ活動の促進			0	1 該当		·成	年 ~	1 /			聞設定なし
		主要施策	(3)	コミュニテ	- ィ活動の活性	生化支	援	O	2 非該当	木	艮拠法	令等 コ	ミュニティ	助成事業実施	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	台総合センター)
		対象(誰を、 何を)	1治会等	の地域的	な共同活動を	行ってし	ハる団体)	又はその	D連合体で構成	されたコ	ミュニラ	ティ組織				
	事業の 対象・目的	目的(どうい ⁵ う状態にし							品購入やコミコ ニティ活動が活					より、コミュニ	ティ組織し	こよる地域のお
P L			今年度													
ΑZ		具体的にどの。						')								
N					、取りまとめ等											
	事業の	財団法人自	治総合	センタ - 0	D助成金を財源	原とし、i	市補助金	として同	額をコミュニテ	ィ組織に	助成を	行います。				
	活動内容															
							337.73		1			- 15		- B		
		指標名		人	くは指標設定理	里由	単位		平成 22	年度	4	成 23 年	·	平成 24	年度	最終目標
	数値目標				組織からの自主申 『標を設定できませ			目標		4						
	(事業の目的			のるにの、18	目標で設定しさまり	270.		実績		1			0			
	及び活動内 容の達成度							目標								
	を測る指標)							実績 目標								
								実績								
	予算費目	会 計		一般	会計		款	2 総別	<u> </u> 	項	1 2	総務管理費	<u></u>	目 6	企画費	
	7 开 只 口	Д П	平	成 2:		·笪	平成	23	年度決算	平成	24			ТНІО	備考	
		国庫支出:				千円	1 1-70		千円	1 7-70		112	千円		110 3	
			金			千円			千円				千円			
			債			千円			千円				千円			
D	直接事業費	その他特定財活	源		2,500	千円			千円			3,800) 千円			
0		一般財	源			千円			千円				千円			
		計(A)			2,500	千円			0 千円			3,800	1 千円			
		正職員工数·経		100 人	613	千円	0.100 ,	ا	604 千円	0.100	人	596	5 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職和														
		臨時·嘱託工数·経	費 0.0	000 人			0.000 /	人	0 千円	0.000	人		1 千円			
	全体事業	業費(A + B)			3,113	千円			604 千円			4,396	5 千円			

					チェ	ック項目					_	次評值	E			-次評価(二次	(評価	fi .
		1 .						「確保できる等 <mark>後響は大きくな</mark>		0	少ない	•	大きい	١	市の財政ンが原則10	割である当	事業	はコミュニ	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	3められない。	0	ない	0	ある		ティの活性 財政的に	E化を図る: b非常に有	えで、 利な	政策的√ ₽業であ	0	ない	•	ある
	性	3 .	住民満足度の	句上のため	に、明	見在の手段	认方	法等の改善の余	余地がある。	0	ある	0	ない		り、今後も す。	積極的に消	舌用す	るべきで	0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの 上回るサート				隣自	治体と比較し	,てニーズを	0	เาอ	•	いない		9 .				0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現するた	:めに、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	1 •	いえる		コミュニテ り有効な事		進を図	図るにあた	0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ノネリ化な	ど、施	策への貢	献度だ	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1	いえる						0	いえない	•	いえる
C	性	3 .	市が実施する	る施策の中	中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	0	しない						0	する	•	しない
OHEOK		4 .	事業の継続を	をしても反	成果の	向上が期	待で	ぎきない。		0	できない	1 •	できる						0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	付して進持	步状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて針	らっている	3	コミュニティにより、コ				0	目標に比	べて劣	うっている
	達世	2 .	目標設定に対	付して成界	果があ	まり上か	「って	いないと思う) _e	0	あまり上	がってい	ない		寄与し、地意識を盛り	域の連帯	感に基	ず〈自治	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概れ	2目標	を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達	成してい	13		う目標から	鑑みると、	概ね		•	概ね達成	してい	. S
		4 .	目標設定に対	すして十分	分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分達	成してい	13		放している	と思われる	£9.		0	十分達成	してい	13
		1 .	効果に比べて	てコストだ	が高い	0				0	高い	•	適当		募集期間 方法の検				0	高い	•	適当
	効	2 .	他の実施主体	本のノウノ	\ ウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できな		7774 174				0	できる	•	できない
	率性	3 .	予算・人員と	ヒ成果の関	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	•	ある	0	ない		1				•	ある	0	ない
		4 .	電子化や契約	内方法の変	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	0	ない		,				0	ある	•	ない
							次評	** *									次評					
	評化	二点	必要性	有効'	性	達成月	臣	効率性	総合評	' 価		必要₫	性	有	可効性	達成	芰	効率1	生	総	合評	' 価
	今往	多の		<u> 4</u> 宝宝 ●	現状	3 ·維持		3 方法改善		壬等			大·充ī	₽	4 ● 現状	<u>3</u> 状維持		<u> 3 </u> 方法改善	<u></u>		<u>A</u> 引委:	 託等
Δ		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止)縮(-	統合/終			廃止/休	-			
C														次	評価での	指摘事耳	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	Ā	
ACTIO	当課	面の 問題	現在、当事業	がコミュニ	ティ組	1織に十分	周知	口されていない。	ように思われま	きす。												
0 N												!域コミ	ュニテ	ィ活	動の活性 [,]	化に繋が	るよう	本事業を	効果	的に活用	して	下さい。
14	と国			より、市内	コミュコ	ニティ活動		周知等を図り、 5性化の一端に														
		• •	こり フ牧必女		1649	0																
		員会 事項																				

	No. 5 -	11 基本事務事業名	地域公共	さ施設管	理事務	事務事業	業名勝	命コミュニティ公	園の管理		5 4 シ	一卜作成日 平	成24年7月5日
	部局名	総	務部		課名	企画記		主務課長		吉田一夫	シー	-卜作成者名	矢田正和
	事業区分	○ 1 ソフト事業			経常的事務事			金・負担金・支		業運営方法		I営 L	3 全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事			施設の維持管理	浬	6 内部	管理事務・その)他 The state of the state of	未连占刀仏		-部委託 📗	4 補助等
		基本構想(政策						実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策					C		平		- 平	成 年 🗸	期間設定なし
		主要施策	(1)身近	な公園	の整備		<u> </u>	2 非該当	相	拠法令等			
		対象(誰を、 何を) 勝i	命コミュニテ 	- ィ公園									
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最う状態にし	終的 勝命	בבוב:	ティ公園における	5、市民福	量祉の増	進に寄与するこの	とを目的と	しています。			
P L			年度										
ΑZ		具体的にどのよ	うな活動を	を行いま	すか。(主なもの	の5つま ^っ	で)						
N		公園管理											
	事業の	シルバー人材	オセンターへ	/草刈り	衣頼								
	活動内容												
		T						- B		- N		- · · -	÷
		指標名			指標設定理由	単位		平成 22	年度	平成 23	4度	平成 24 年	度最終目標
	数値目標			維持の <i>†</i> 定できま	ため数値目標		目標						
	(事業の目的		で収	たしる	. e 70°		実績目標						
	及び活動内 容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会計		一般会詢	<u> </u>	款		務費	項	1 総務管	理費	目 6 企画	費
			平成	22	年度決算	平成	23	年度決算	平成		F度予算		#考
		国庫支出金	È		千円			千円			千円		
		県支出金			千円			千円			千円		
	直接事業費	地 方 債			千円			千円			千円		
D	且汉尹未貝	その他特定財源			千円			千円			千円		
0		一般財源	Į.		28 千円			14 千円			55 千円		
		計(A)			28 千円			14 千円			55 千円		
		正職員工数·経費		人	12 千円	0.002	人	12 千円	0.002	人	12 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種			_	0.555			0.000	,			
	۸ / + - :	臨時·嘱託工数·経費	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	人	0 千円		
	■ 全体事業	業費(A + B)			40 千円			26 千円			67 千円		

				チェ	ック項目						—)	欠評(西		_	-次評価	の説	明		二次	評価	
		1 .	市が実施しなく主体があり、事						施	•	少ない	0	大きし	l I	地元の要 であり、 壮				0	少ない	● 大	いきフ
	必要	2 .	厳しい財政状況	兄の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	忍められな	۱۵۱،	0	ない	0	ある		要です。				0	ない	● あ	5 3
	女性	3 .	住民満足度の向上	Ŀのために、∃	現在の手段	3 、方法	去等の改善の名	余地がある	0	•	ある	0	ない						•	ある	೦ ಚ	111
		4 .	住民ニーズの低 上回るサービス			[隣自]	治体と比較し	ノてニース	で	0	いる	•	いない	l I					0	113	• ,1	ない
		1 .	施策の目的を実現	見するために、	事業内容	が必っ	ずしも適切とは	はいえない	0	•	いえない	0	いえる	3	毎年、草)		の維持	経費が	•	いえない	O 11	える
	有効	2 .	事業内容のマンネ	リ化など、旅	延策への貢	献度が	著しく高いと	はいえない	٥.	•	いえない	0	いえる	3	220	0			•	いえない	O 11	える
C H	性	3 .	市が実施する旅	施策の中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。		0	する	0	しない	١,					0	する	U	ない
Е		4 .	事業の継続をし	ても成果の	向上が期	待で	きない。			•	できない	0	できる	3					•	できない	O 7	ごきる
C K		1 .	目標設定に対し	して進捗状況	が劣って	いる	と思う。			0	目標にと	とべて纟	岩ってい	1 3	利用者数	が少なし	ようで	ごす。	0	目標に比り	べて劣って	ている
	達	2 .	目標設定に対し	て成果があ	まり上が	「って	いないと思う	ò.		•	あまり上	がってし	ハない						•	あまり上が	っていなし	61
	成度	3 .	目標設定に対し	ノて概ね目標	を達成し	てい	ると思う。			O 7	概ね達別	戈してに	13						0	概ね達成	している	
		4 .	目標設定に対し	て十分に目	標を達成	ねして	いると思う。			<u> </u>	十分達度	成してに	13						0	十分達成	している	
		1 .	効果に比べてコ	コストが高い	١٥					0	高い	0	適当	í	維持経費な〈効率/				0	高い	● 道	鱼当
	効率	2 .	他の実施主体の	こノウハウや	新たな制	度を	活用できる。			0	できる	0	できた	ない	る/別学/	J. 10 10 1	س121 سام	υ	0	できる	⊙ で	できない
	华性	3 .	予算・人員と成	成果の関係で	:、実施手	段等	を見直す余地	也がある。		0	ある	0	ない						0	ある	● ಭ	111
		4 .	電子化や契約方	法の変更な	さどにより	コス	ト削減の余地	也がある。		0	ある	0	ない						0	ある	● ಭ	111
						次評(次評					
	評值	点面	必要性 1	有効性	達成月		効率性 4	総	合評	価		<u>必要</u> 3	性	1	与効性 4	<u>達成</u>	度		生	総	合評価 て	<u>f</u>
	今後	後の	○ 拡大·充実				 方法改善	〇 民間	委託	等	С		 大·充	<u></u> 実		<u></u> 状維持		 方法改善	<u> </u>		<u>し</u> 委託領	 等
Α		匀性	○ 縮小 (_ '			廃止/休止			_	C	縮	小	0	統合/終	期設定	0	廃止/休	止			
C			-										_	二次	評価での	指摘事	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	l	
TI	当祖課	題	今後、勝命コミュ	ιニティ公園を	E どうする7	か考え	.る必要があり	ます。														
0											++-	l武仕 E	星の利	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	状況等に基	づき 施	₋ ው /	こり方につ	ルケ	検討をした	下さい	١
N		案	≪後 ☆☆スのササト	二签理证查》	┵╾ ╏	- '仕 '	+ +				26.	- 36 ⊥ 1	こくひつから	ערנותנ	が守に坐		IX VVIL		, v i C	186760	. 1.00	10
	計		今後、施設の地	ル自荘に門	ノ C 作失 計 で	に進め	エ y。															
		員会 事項																				

	No. 5 -	12 基本事務事業	名 地垣	【集会施 詞	殳整備事務	事務事業	業名 地址	或集会施設整	備事務	公的関	与 9 シ	一卜作成日 平成	24年7月5日
	部局名	Á	総務部		課名	企画記		主務課長		吉田一		-卜作成者名	枝澤 正彦
	事業区分	○ 1 ソフト事		0	3 経常的事務事			金·負担金·支		業運営方法		當 □	3 全部委託
	争来应力	○ 2 ハード事			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その	D他 Fi	未连口///		-部委託 🗸	4 補助等
		`			共に築くまちづく	I)		実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施第			ティ活動の促進		0	1 該当	平				期間設定なし
		主要施策	(2)	コミュニラ	〒ィ施設の整備		<u> </u>	2 非該当	札	拠法令等	阿波市地	域集会施設整備事	業補助金交付要綱
		対象(誰を、 何を)	治会又	はその連	合体が所有する集	会施設(集	長会所)						
		目的(どうい り)	最終的	地域にお	ける集会施設(集会	除所)の整	備を促進	し、市民福祉の	増進に寄	与することを	目的としてい	ます。	
P L		たいのか)	今年度										
ΑZ					\ますか。(主なも		,						
Ν					築事業を行う自治会		補助を行	います。					
	事業の	集会所の修	経を行	う自治会に	こ対して補助を行い	ます。							
	活動内容												
		北無力		+1 ~~ -1 =	7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	W /A		T	左京	₩ +	2 左京		
		指標名			は指標設定理由	単位		平成 22	牛及	平成 2	3 年度	平成 24 年度	最終目標
	数値目標				からの自主申請のた 設定できません。	団体	目標		1		3		
	(事業の目的 及び活動内			り、コロイボで	. DECESEIO		実績 目標		I		3		
	及び活動内 容の達成度						実績						
	を測る指標)						目標						
							実績						
	予算費目	会 計		一般	会計	款	2 総利	· 务費	項	1 総務管	空理費	目 6 企画	費
			平	成 2	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24	年度予算	備	
		国庫支出:			千円			千円			千円		
			金		千円			千円			千円		
	直接事業費		債		千円			千円			千円		
D	且以于未具	その他特定財			千円			千円			千円		
0			源		296 千円			781 千円			5,925 千円		
		計(A)			296 千円	0.40-		781 千円	- 10-		5,925 千円		
	1 (4) # (5)	正職員工数・経		100 人	613 千円	0.100	人	604 千円	0.100	人	596 千円		
	人件費(B)	臨時・嘱託職和		200 1	0	0.000	, ,	0	0.000	1	0		
	→	臨時·嘱託工数·経 業費 (A + B)	· 頁 U.(000 人	0 1 909 千円	0.000	<u> </u>	0 千円 1,385 千円		<u> </u>	0 千円 6.521 千円		
	土冲争	未見(ハTD)			909 十円			1,303 十円			しいして 十円		

					エ ェ	ック項目						次評価		_	-次評価の	レ真見口	Я		二次	小小田	
		1	士が守佐し	t> / T			- hH -4:	で確保できる等	こ						<u> </u>						
	N		主体があり、	事業	を廃止・	休止して	七影	/響は大きくな	<u>کل ا .</u>	0	少ない	•	大きい	設が多い	ため、当分の	の間は		0	少ない		大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある	美施りる	ことが必要で	. 9 .			ない		ある
	性							法等の改善の急	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ 上回るサー				隣自	治体と比較し	ノてニーズを 	0	113	•	いない					0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現す	るために、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	1 •	いえる		動の拠点で し、金銭的な			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマ	ンネリイ	となど、施	延策への貢	献度だ	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1 •	いえる		有効な事業			0	いえない	•	いえる
С	姓	3 .	市が実施す	る施策	の中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続	をして	も成果の	向上が期	待て	ぎきない。		0	できない	1 •	できる						できない	•	できる
C K		1.	目標設定に	対して	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて劣っ	ている		ける集会施うことにより、			0 1	目標に比り	べて劣	っている
	達世	2 .	目標設定に	対して	成果があ	まり上が	「って	いないと思う		0	あまり上	がっていた	jl1	の活性化	等に寄与しる るため、概ね	ている	部分が	0 ;	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に	対して	概ね目標	を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達	成している	5		るため、ima 思われます。	ᅅᄆᆥᇒ	で達成し	O 1	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に	対して	十分に目	標を達成	tして	いると思う。		0	十分達	成している	3					O -	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べ	てコス	トが高い	١.				0	高い	•	適当		の問題につ がある思われ				高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主	体のノ	ウハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できない					\bigcirc	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員	と成果	の関係で	:、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契	約方法	の変更な	さどにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
						_	次評	価								次評	価				
	並行	点点	必要性	有	効性	達成原	茰	効率性	総合評	' 価		必要性	Ė 7	有効性	達成原	臣	効率性	生	総	合評	価
			4		4	3		4	A			4		4	4		4			<u> </u>	
		後の	○ 拡大・3		● 現状			方法改善	〇 民間委請	托等			·充実		犬維持		方法改善]委言	等
Α	万吨	1性	○ 縮小	0	統合/終	期設定	0	廃止/休止				縮小	<u> </u>	統合/終			廃止/休		1000		
С													二次	(評価での)指摘事項	良及び)一次評	価との	D相違点	3.	
Ţ			当市の集会	所は老海	朽化してい	ハる施設が	が多し	Nので、申請が S要だと思いま	`多数あった場↑ ▼	合の 「	予算										
I	祘	題	小た寺の回	起で快る	אַט כ אַ /	CCM	7 1交火	が安たと忘れる	9.												
N	J <i>h</i> 3	主字										会所整	備につい	て、自治な	会のニーズ	を把	握しなが	ら事業	を進めて	で下さ	ι ١ .
	と実	草案 〒/〒						口を図ります。そ	の際、予算不	足の	問										
	計		題について村	検討して	お〈必要	がある思	われ	ます。													
	委員	員会																			
		事項																			

	No. 5 -	13 基本事務事業	業名のる	ると納税	事務	事務事	業名	ふるさと納税	事務		公的関与	8 シ	ート作成日	平成24年	年7月5日
	部局名	4	総務部		課名	企画	訓課	主務記	果長名	1	吉田一夫	シー	- 卜作成者名	大	:森章司
	事業区分	○ 1 ソフト事	業		3 経常的事務	事業(5 補	助金·負担金	ì·支扬	重要	運営方法		営	3 €	全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持) 6 内	部管理事務	・その′	他	连吕刀仏		-部委託	<u> </u>	甫助等
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			共に築くまちて			実施計	画				の開始・終了	7	
	総合計画	基本計画(施第	- / /		続可能な地域系			○ 1 該当		平成				✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	効率的で	持続可能な財	政運営の	推進	● 2 非該当	<u> </u>	根抗	処法令等	地方税法			
		対象(誰を、 何を)	阿波市の		に賛同する個人										
	事業の 対象・目的	目的(どうい すう状態にし	最終的		まちづくりに賛同 創造を目指し、((に向かって人	の花咲く	やすらぎ空間・
P L			今年度												
ΑZ					\ますか。(主な										
N		「ふるさと阿	可波市」	こ貢献した	い、「ふるさと阿え	波市」を応打	援したい	1という個人又	は法人	、から寄附	を募り、阿波	皮市の施策	に活用します。		
	事業の														
	活動内容														
		1617 6				. 1		- n			- N	<u> </u>	IS		
		指標名			以は指標設定理				22 É	‡度	平成 23	牛塻	平成 24	牛度	最終目標
	数値目標			寄附者から	の御厚意であるた 設定できません。	ב	<u>目</u>		4.0	40.000		4.055.000			
	(事業の目的			の、拍信を	設定できるにん。		実		1,8	10,000		1,855,000			
	及び活動内 容の達成度						里								
	を測る指標)						目								
							実								
	予算費目	会 計			스타	款		^限 総務費		項	1 総務管	押费	目 6	企画費	
	丁开貝口	Д П	亚	·成 2					. 質	平成		度予算	IHIU	備考	
		国庫支出		1-20		円			千円	1 7-20		千円		110 3	
			金			円			千円			千円			
			債		Ŧ	·円			千円			千円			
D	直接事業費	その他特定財	源		Ŧ	円			千円			千円			
0		一 般 財	源		Ŧ	円			千円			千円			
		計(A)			0 Ŧ	·円		0	千円			0 千円			
		正職員工数・経		200 人	1,225 T	円 0.100)人	604	千円	0.100 /		596 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
		臨時·嘱託工数·紹	圣費 0.	000 人	0 千)人		千円	0.000 /		0 千円			
	全体事業	業費(A + B)			1,225 千	円		604	千円			596 千円			

				5	ニェック	項目				一次	(評価		_	-次評価の	D説印	月		二次	評価	
		1 .	市が実施した主体があり、				確保できる等		O у	いない	大き	٤١١		広〈PRす 名度を上			0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政権	犬況の中、次	て年度に	以降実施す	る緊急性が認	ぬられない。	೦ ಚ	111	ある)		発展を願 ・ 種事業の			0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の「	句上のために	、現在	の手段、方	法等の改善の急	余地がある。	O .	53	ない	١	る経費に	充てるため	52U	て、ふる	0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの 上回るサート			り、近隣自	治体と比較し	ノてニーズを	O 1	13	● 11tg	î l l		(寄附)をん 亥事業を推			0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を調	実現するため	に、事	業内容が必	ずしも適切とに	はいえない。	O 1	えない	• いえ	.a		の積極的 いる中で、			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策へ	への貢献度が	が著しく高いと	はいえない。	O 11	えない	• いえ	.3	掲げる「オ	あすに向か	って、	人の花	0	いえない	•	いえる
CH	性	3 .	市が実施する	る施策の中で	で類似	・重複した	:事務事業が存	存在する。	ਂ ਰ	「る	しな	:11		らぎ空間・I ために有効			0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続を	をしても成界	₹の向_	上が期待で	きない。		0 7	ぎきない	● でき	3	す。				0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	寸して進捗丬	犬況が多	労っている	と思う。		O	標に比	べて劣ってし	13		応援したい 募るという			0	目標に比べ	ヾて劣・	っている
	達世	2 .	目標設定に対	付して成果が	があまり	〕上がって	いないと思う	ö.	あ	まり上が	· ・っていない		現状は制	度の周知	不足:	等があ	0	あまり上が	っていた	ill :
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね目	標を追	達成してい	ると思う。		概	祝達成	している			れますので Ĵ成果が上			•	概ね達成	している	3
		4 .	目標設定に対	すして十分に	こ目標で	を達成して	いると思う。		0 +	-分達成	している		と思われ				0	十分達成	している	3
		1 .	効果に比べて	てコストが高	高い。				〇 i	引い	● 適当	当		書の電子			0	高い	•	適当
	効	2 .	他の実施主体	本のノウハワ	つや新た	とな制度を	活用できる。		⊙ 7	できる	○ でき	ない	による納ん	付等を検討	すし、そ	寄附す	•	できる	0	できない
	率性	3 .	予算・人員と	ヒ成果の関係	系で、国	実施手段等	を見直す余地	也がある。	<u></u> ත	5 る	ない	١		附しやすい ハくことが、			0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	内方法の変更	夏などに	こよりコス	ト削減の余地	也がある。	● あ	53	○ ない	١	と思われ				•	ある	0	ない
						一次評	価								次評	価				
	評値	引	必要性	有効性	ì	達成度	効率性	総合評	価	ļ	必要性	1	与効性	達成原	7	効率!	生	総	合評	価
	全征	後の	4 ○ 拡大·充	4 ② E		2 持 【〇	<u>2</u> 方法改善	○ 民間委 記	壬等	0	4 拡大·充	<u> </u> 宝		3 		<u>2</u> 方法改割			B 引委部	-
Α		対性	_		終期記		廃止/休止	O 201-3 & R		0	縮小		統合/終			廃止/休	-	<u> </u>		
C			一度、阿波市	に対してふる	るさと納	 税(寄附)を	きしていただい	た方に、次年原	き以降も	5		二次	評価での	指摘事項	及し	バー次評	価と	の相違点	Ţ	
T O		題	引き続き阿波	市に対してん くの方に、阿	ふるさと 波市に	納税(寄附)をしていただ	けるような取組 をしていただけ	また、	ì	を積極的	I=`徒∦	りて下さい							
Z	改造と第	€行	び制度説明等	穿を行い、 趣	旨に賛[同していたフ	だける方を一ノ	系 リーフレット(人でも多く増や いと思われま	すべく「ノ	及	CT맞T쪼다기	, C, E 0,) C CV	0						
		員会 事項																		

	No. 5 -	14 基本事務事業		徐統計等詞	周査事務			幹統計等調査	事務	公的関与			年7月5日
	部局名		総務部		課名	企画記	果	主務課長	名	吉田一夫			并和芳
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事			金·負担金·支		業運営方法			全部委託
	争来应力	○ 2 八一ド			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務·その	D他 Fi	来连占力况			輔助等
		基本構想(政		áなし				実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施	策)				0	1 該当	平		~ 平	成 年 🔽 期間	設定なし
		主要施策					<u> </u>	2 非該当	札	拠法令等			
		対象(誰を、 何を)	統計の種	類に応じ	て市内事業所や世紀	帯等							
		目的(どうい)	最終的	調査員の	質の向上に努め、	調査対象	者に調査	に対する理解、	必要性の	浸透を図り、適	証な統計	調査を実施します。	
P L			今年度	調査員の	質の向上に努め、	調査対象	者に調査	に対する理解、	必要性の	浸透を図り、適	0正な統計	調査を実施します。	
ΑZ					\ますか。(主なも	の5つま	で)						
Ν		調査員、指	4導員を	住薦します	0								
	事業の				会を実施します。								
	活動内容	調査を実施											
		県へ調査	票等を提	出します。									
		Ib 1 Tr 6					1	N		- ·	<i>-</i> -	- · · -	
		指標名	i	計算式又	(は指標設定理由	単位		平成 22		平成 23		平成 24 年度	最終目標
	数値目標	活動指標		基幹統計	等数	回	目標 実績		5 5		3	6	
	(事業の目的 及び活動内			セル	 査実施の計画性		天 目標		100		100	100	
	容の達成度	成果指標		台統計調 の確保	且夫他の引 注	率	実績		100		100	100	
	を測る指標)						目標		100		100		
							実績						
	予算費目	会計		一般	会計	款	2 総剤	务費	項	1 総務管理	里費	目 6 企画費	
				·成 2	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 年	度予算	備考	
		国庫支出			0 千円			千円			千円		
			金		14,977 千円			1,411 千円		2,	390 千円		
	直接事業費	地方	債		千円			千円			千円		
D	五汉子从兵	その他特定財			千円			千円			千円		
0		一般財	源		6 千円			14 千円			38 千円		
		計(A) 工職品工業 43	7 建 4 1	000	14,983 千円	0.000	1	1,425 千円			428 千円		
	人件費(B)	正職員工数·紹 臨時·嘱託職		800 人	11,026 千円	0.800	<u> </u>	4,836 千円	0.800	人 4,	<mark>769</mark> 千円		
	八計頁(D)	臨時·嘱託工数·約		000 人	0 千円	0.000	<u> </u>	0 千円	0.000	1	0 千円		
	A 4. = :	四門 Man L X M 業費(A + B)	T. O.	000 X	26,009 千円		<u> </u>	6,261 千円		7	197 千円		

						ック項目					_	次評值	西		_	-次評価(の説	明		二次	評信	5
		1 .						が確保できる等 を響は大きくな		0	少ない	•	大きに	1	23年度にサス - 活	動調査を	実施	したが、	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	犬況の「	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある		調査実施	にあたり っています	調査員 ►	員確保が	\bigcirc	ない	•	ある
	性	3 .	住民満足度の	向上のな	こめに、 ∃	現在の手段	8、方	法等の改善の急	余地がある。	•	ある	0	ない		四世にる	J CVIA S	,		0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ(上回るサート				「隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	113	•	いない	١					0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現する	るために、	事業内容	₹が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	1 0	いえる		社会情報として重要	の動向を			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ソネリ化	など、旅	画策への貢i	献度だ	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	,1	いえる		施策に活				0	いえない	•	いえる
СП	性	3 .	市が実施する	る施策の	の中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない						0	する	•	しない
CHECK		4 .	事業の継続で	をして	も成果の	向上が期	待て	ぎきない。		0	できなり	1 0	できる						0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	付してi	生 捗状沉	が劣って	いる	らと思う。		0	目標に	比べて乡	片っている		基幹統計あるため、				0	目標に比	べて劣	らっている
	達成	2 .	目標設定に対	付して店	成果があ	まり上が	「って	いないと思う	ö.	0	あまり」	こがってし	ない		100%」で			EIIXIXIG	0	あまり上が	ってし	ない
	度	3 .	目標設定に対	付して村	既ね目標	を達成し	てし	ると思う。		0	概ね達	成してい	13						0	概ね達成	してい	13
		4 .	目標設定に対	付して-	十分に目	標を達成	はして	いると思う。		•	十分達	成してい	13						•	十分達成	してい	13
		1 .	効果に比べて	てコス	トが高い	١.				0	高い	•	適当		基幹統計	調査は、			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	本のノ「	シハウ や	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できな	:11:	額国負担	です。国の	の行き	草のなか	0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員の	ヒ成果の	の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	•	ある	0	ない		の民間委	費削減や 託が実施			•	ある	0	ない
		4 .	電子化や契約	的方法(の変更な	どにより	コス	くト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない		と考えられ	れます。			0	ある	•	ない
							次評	** *				•					次評					
	評化	西点	必要性	有	効性	達成原	芰	効率性	総合評	' 価		必要	性	有	可効性	達成原	芰	効率1	生	総	合計	P価
	全征	多の	3 ○ 拡大·充	<u> </u> 宝	<u>4</u> ● 現状	4		3 方法改善		千筀	(<u>4</u>)拡	L 大·充》	ŧ	4 ● 現状	4_ ├維持	\bigcirc	<u> 3 </u> 方法改善	Ē		A 引委:	 託等
٨		句性	○ 縮小		<u> </u>		0	廃止/休止	0 201-354		111110				統合/終			<u>廃止/休</u>	-	<u> </u>		1013
C			切木へ仕るに			-	7 (0)	LAI + 74	+ 0 - + 10 -	L 1-			<u> </u>		評価での		頁及7	ゾー次評	価との	の相違点	į	
ACTIO		面の!題	いては、調査 野に入れなか	:員委嘱 バら取り	事務と、 組むべき	民間会社だと考え	への ます。		近隣市町の重	か向も	視	杏昌(の確保し	- n	とめながら	こ 継続し	て車を	& 執行1.7	- ⟨ <i>†</i> = ;	≯ 1.1		
Ν	と国	革案 実行 ·画	は推薦に係る 調査員登録制	事務を円 度を実施	3滑に進め 色しました	るとともに 。広報阿波	、統言 3、ホ-	登録することによ †調査員の資質(-ムページ等で募 確保していきた!	の向上を図るた。 募集した結果21	めに約	市义 充計					21. MEENJE O	C 1	7. T 1. T 1. T	. \/C	⊆ v ¹₀		
		員会 事項																				

	No. 5 -	15 基本事務事	業名	y財産管 ^理	里事務	事務事	業名 行正	対財産管理事	務	公的関与	2 シ	ート作成日	平成24年	₹7月20日
	部局名		総務部		課名	企画		主務課長		吉田一夫		- 卜作成者名		家晴生
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務事			金·負担金·支		業運営方法		営		部委託
	争未匹力	○ 2 八一ド			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務・その	D他 事	未连占刀仏		-部委託		助等
		基本構想(政		当なし				実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施					0	1 該当	平				☑ 期間	設定なし
		主要施策					<u> </u>	2 非該当	根	拠法令等	阿波市財	務規則		
		対象(誰を、 何を)	市民											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	行政財産	の有効利用を図り	ます。								
P L		たいのか)			の有効利用を図り									
ΑZ				舌動を行し	\ますか。(主なも	の5つま	で)							
Ν		公園遊具	点検											
	事業の													
	活動内容													
		指標名	<u> </u>	【計算式】	ては指標設定理由	単位		平成 22	年度	平成 23	年度	平成 24		最終目標
	数値目標	公園遊具点検箇所	fī				目標		2.2				31	
	(事業の目的						実績		30		30			
	及び活動内 容の達成度						目標							
	を測る指標)						実績目標							
	,						実績							
	予算費目	会 計			会計	款	2 総別		項	1 総務管	理費	目 2	財産管理費	
	JARH	Д Н	Į.	成 2		平成	23	年度決算	平成		度予算	1815	備考	
		国庫支出			千円		-	千円	1 1 10		千円		11.0	
		県 支 出	金		千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円			
D	且按争耒貝	その他特定則	才源		千円			千円			千円			
0		一 般 財	源		584 千円			567 千円			609 千円			
		計(A)			584 千円			567 千円			609 千円			
		正職員工数・総		204 人	1,250 千円	0.204	人	1,233 千円	0.204	人 1	<mark>,216</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職												
		臨時·嘱託工数·	経費 0.	000 人	0 千円		人	0 千円	0.000	人	0 千円			
	全体事業	業費(A + B)			1,834 千円			1,800 千円		1	. <mark>825</mark> 千円			

					チェ	ック項目					_	·次評	価		_	-次評価(の説	明		二次	(評価	i
		1 .						が確保できる等 <u>/響は大きくな</u>		0	少ない	•	大き	<u> </u>	遊具の安	したよる事 そ全性が問			0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政料	状況の中、	次年	度以降実	施す	「る緊急性が誤	忍められない。	0	ない	•	ある		で必要で	゚す。			0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上のため	に、現	見在の手段	8、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの 上回るサート				「隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•)いな	:11					0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内容	₹が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	۱۱ () いえ	3	市民が安	全に使用るものは	でき [、] 早争 i	るよう危 こ 押 握 L	0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ソネリ化なる	ご、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	11	いえ	3	修繕して		ואטרו	C1011±0	0	いえない	•	いえる
С	性	3 .	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	l I					0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続で	をしても成	果の	向上が期	待て	ごきない。		0	できな	۱۱ (でき						0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	対して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	13	市所有の検してい)遊具につ ≠ す	いて	は全て点	0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2 .	目標設定に対	対して成果	があ	まり上か	「って	いないと思う	Ò.	0	あまり」	こがって	いない		18000	Δ 9 ,			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね	目標	を達成し	てし	ると思う。		0	概ね達	成して	いる						0	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	対して十分	に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分達	成して	いる						•	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べて	てコストか	高い	0				0	高い	•	適当	á		検していま いる主管語			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	本のノウハ	ウや	新たな制	度を	活用できる。		•	できる	С	でき	ない	も必要で		IN C L	1 17 MIX	•	できる	0	できない
	性	3 .	予算・人員の	と成果の関	係で	、実施手	段等	を見直す余 均	也がある。	0	ある	•	ない	ı					0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法の変	更な	どにより	コス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
							次評								•		次評					
	評値	点面	必要性	有効性	Ė	達成原	芰	効率性	総合評	[個		必要		7	与効性 4	達成人	芰	効率性	生	総	合評	価
	今後	後の		<u> 4</u> E実 ●	現状	4 維持		<u>] 3 </u> 方法改善	○ 民間委i	托等	(<u>.</u> 大·充			4 _ 犬維持		<u> 3 </u> 方法改善	阜		<u>^</u> 引委記	 £等
Α		対性	○ 縮小			胡設定		廃止/休止	0 201-321					$\overline{\bigcirc}$	統合/終			廃止/休	-	0 201		
Ĉ				•										二次	評価での)指摘事I	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	<u>.</u>	
Т									点検を実施して	いま	す。											
I	祘	題	その結果を各	3旅の官理:	白に半	R 古 U C V	1 X 9	0														
Ň	改革	革案									5	き続る	き適正	な管	理に努め ⁷	て下さい。						
	と写 計		遊具点検委詞	托業務を一	括して	行い、修	繕等	は管理してい	る各課で行って	こいま	す。											
		凹 員 会																				
		事項																				

	No. 5 -	16 基本事務事業名	普通	財産処分	事務	事務事	業名一普i	通財産処分事	務	公的関与	2 シ	ート作成日	平成24年	₹7月5日
	部局名	総	務部		課名	企画語		主務課長領		吉田一夫	シー	- 卜作成者名		家晴生
	事業区分	○ 1 ソフト事業	¥	0	3 経常的事務事			金·負担金·支		業運営方法 -		営		部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その	D他 The state of the state of	未连吕刀仏		·部委託		助等
					共に築くまちづく			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策)			売可能な地域経常			1 該当	平		~ 平		✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)3	効率的で	持続可能な財政	運営の推	i進 <mark>●</mark>	2 非該当	根	拠法令等	阿波市財	務規則		
		対象(誰を、 何を) 市目	民											
		目的(どうい 最う状態にし	終的	普通財産	を処分し、財源を研	催保します。	0							
P L			年度											
AN		具体的にどのよ	うな活	動を行い	ますか。(主なも	の5つま	で)							
Ν		普通財産の処	见分実	施。										
	事業の													
	活動内容													
		1617 6				1 3773		B		I		- "	<u> </u>	
		指標名		計算式又	は指標設定理由	単位		平成 22	牛塻	平成 23	年度	平成 24		最終目標
	数値目標	処分件数					目標		0		0		2	
	(事業の目的 及び活動内						実績目標		0		0			
	及び活動内 容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会計		一般:	会計	款	2 総		項	1 総務管理		目 2	財産管理費	
			平月			平成	23	年度決算	平成		度予算		備考	
		国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方 信			千円			千円			千円			
D	且汉于未具	その他特定財源			千円			千円			千円			
0		一般財源	Ī		0 千円			0 千円			75 千円			
		計(A)	-		0 千円			0 千円	0.5 = -		75 千円			
		正職員工数・経費		28 人	1,397 千円	0.228	人	1,378 千円	0.258	人 1,5	38 千円			
	人件費(B)	臨時・嘱託職種		100 1 1	0	0.000	<u> </u>	0	0.000	1	0			
	ム は事業	臨時·嘱託工数·経費	₹ 0.0	00 人	0 千円		<u>人</u>	0 千円	0.000	人	0 千円			
	王仰手	業費(A + B)			1,397 千円			1,378 千円		2,3	13 千円			

				7	・ェック項目						がきび	т.		'⁄¬ =□ /≖	i Λ-i ii	п		— v ₂	評価	
		4	+ 4°C+ 46 1				L∜τ± /□				次評任	Щ	+ 40 00	一次評価					. 計刊四	
	ν,		主体があり、	事業を廃」	<u>・休止し</u>	ても景	が確保できる等 <u>影響は大きくた</u>	£61.	0	少ない	0	大きい	■ 未利用 ■ ます。	地を処分す	9 6必	妛かあり	0	少ない	⊙ ⊅	しきい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の中、 次	(年度以降	実施す	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある					0	ない	● #	53
	性						方法等の改善の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	ある	0	ない					0	ある	• t	١١٤
		4 .		の低下がみら ビスとなって		丘隣自	自治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	•	いない					0	いる	• ı	ない
		1 .	施策の目的を	実現するため	に、事業内	容が必	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	.1 (いえる		能な財産で テムで把握			0	いえない	• ı	える
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	.1 •	いえる	サセノへ) A C161/2	E U & 9	0	0	いえない	• ı	える
С	性	3 .	市が実施する	る施策の中で	類似・重	复した	こ事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない					0	する	• L	ない
HE		4 .	事業の継続を	をしても成界	の向上が	期待で	できない。		0	できない	1 •	できる					0	できない	• 7	ごきる
C K		1 .	目標設定に対	付して進捗状	代況が劣っ	ている	ると思う。		0	目標に	比べて纟	岩っている		産管理シス		を活用	0	目標に比り	べて劣って	ている
	達成	2 .	目標設定に対	対して成果が	があまり上れ	がって	ていないと思う	٥٠.	0	あまり上	こがってし	ない	0, 20,	10000	. 9 .		•	あまり上が	っていな	L1
	度	3 .	目標設定に対	付して概ね目	標を達成	してし	いると思う。		•	概ね達	成してい	13					0 :	概ね達成	している	
		4 .	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	成して	ていると思う。		0	十分達	成してに	13					O .	十分達成	している	
		1 .	効果に比べる	てコストが高	١١.				0	高い	•	適当		産処分等を 処分地を検			0	高い	• i	多 当
	効率	2 .	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな	制度を	を活用できる。		0	できる	•	できない		ZE7] 26 C17	(1) 00	~ 9 0	0	できる	• 7	できない
	性	3 .	予算・人員の	と成果の関係	で、実施	手段等	等を見直す余地	也がある。	•	ある	0	ない					•	ある	O to	111
		4 .	電子化や契約	約方法の変更	などによ	לבנ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない					0	ある	• t	111
					_	-次評	平価							_	二次評	·価				
	評値	点点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合評	′価		必要	性	有効性	達成	度	効率	生	総	合評個	<u> </u>
			4	4	3	1 0	3	A	A-A-		4		4	2		3	-	<u> </u>	B	ATAT
		後性	○ 拡大·矛		就維持 終期設定	0	1 .71 1	〇 民間委託	t寺 —) 払) 縮	大·充実	_	状維持 終期設定		方法改善 廃止/休		○ 民間	委託	
A	711.	기도			於别以是		,					,		の指摘事				D相違点	-	
OH HO	当武課	面の 題	処分可能な則	才産を公有財	産処分等検	討委	:員会で検討しま	きす。			正なタ			丁能な財産						めて〈だ
Z			公有財産処分	分等検討委員	会において	処分	地を決定し、売	却します。			l 1.		.							
	委員 指摘	員会 事項																		

	No. 5 -	17 基本事務事業	業名 普通	動財産管理	里事務	事務事	業名 普遍	通財産等貸付	事務	公的関与	2 シ・	ート作成日	平成24年	F7月5日
	部局名	27	総務部		課名	企画語		主務課長		吉田一夫	シー	-卜作成者名		家晴生
	事業区分	○ 1 ソフト事	業		3 経常的事務事			金·負担金·支	= +	美運営方法	✓ 1直			部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持管		6 内部	管理事務・その	D他 ^{丁才}	建台刀仏		·部委託		助等
		•			共に築くまちづく			実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施第			続可能な地域経常				平原		~ 平/		☑ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	効率的で	持続可能な財政	運営の推	i進 <mark>●</mark>	2 非該当	根	拠法令等 🏻 🌣	河波市財	務規則		
		対象(誰を、 何を)	月											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	普通財産	の効率的な有効和	川を図りる	ます。							
P L			今年度											
AZ		具体的にどの	ような活	動を行い	\ますか。(主なも	の5つま	で)							
Ν		普通財産の	D取得·1	貸付け・占.	用許可の実施									
	事業の													
	活動内容													
		lla lee te				1								
		指標名		計算式又	は指標設定理由	単位		平成 22	年度	平成 23 年		平成 24		最終目標
	数値目標	貸付件数				件	目標						10	
	(事業の目的						実績		9		9			
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会 計			 会計	款	2 総	 咯費	項	1 総務管理		目 2	財産管理費	
	7 7 7 2 7	~ HI	平	成 2		平成	23	年度決算	平成		予算		備考	
		国庫支出		-	千円			千円			千円			
		県 支 出	金		千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円			
D	且按尹未貝	その他特定財			千円			千円			千円			
0			源		千円			千円			千円			
		計(A)			0 千円			0 千円			0 千円			
		正職員工数·経		114 人	698 千円	0.228	人	1,378 千円	0.258	人 1,53	<mark>88</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職												
	A /1	臨時·嘱託工数·紹	圣費 0.	000 人	0 千円		人	0 千円	0.000 ,	人	0 千円			
	全体事業	業費(A + B)			698 千円			1,378 千円		1,53	8 千円			

					エ-	ニック項目						が並ん	/ #		_	-次評価(ת÷אונ	П		二次	÷亚/邢	
			1.3 1 <i>t</i> 1	1. 1			- 1.1 .		- // - - -			次評	Щ								計川	
	ι.	1.						が確保できる等 ど響は大きくな		0	少ない	•	大きり	l I	未利用地 あります。	等の貸付	等の	必要が	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況	の中、次年	丰度以降第	施す	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	性							法等の改善の急	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	ある		ない						•	ある	0	ない
		4 .	住民ニース <u>上回るサー</u>				「隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	0	いなし	١,					0	113	•	いない
		1 .	施策の目的な	主実現	するために	、事業内容	子が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえなり	,1 (いえる	3		財産を公 で把握しま		産管理	0	いえない	•	いえる
	有	2 .	事業内容のマ	?ンネ [!]	リ化など、カ	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	,1 •	いえる	3	77,4	C101/±08	\		0	いえない	•	いえる
С	効性	3 .	市が実施す	る施	策の中で舞	類似・重複	更した	に事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない	, 1					0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続	をし	ても成果の	の向上が期	得で	できない。		0	できなし	.1 •) できる	3					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に	対し	て進捗状況	兄が劣って	[l] a	ると思う。		0	目標に	比べて紅	劣ってい	3	公有財産 し、推進し	管理シス	テムな	を活用	0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2 .	目標設定に	対し	て成果がる	あまり上か	べつて	ていないと思う	Ď.	•	あまり上	_がってし	ハない		り、推進し	JA 9 ,			•	あまり上が	ってい	はい
	成度	3 .	目標設定に	対し	て概ね目	票を達成し	てし	1ると思う。		0	概ね達	成してに	,1る						0	概ね達成	している	3
		4 .	目標設定に	対し	て十分に	目標を達成	tして	ていると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べ	てコ	ストが高い	1.				0	高い	0	適当		公有財産	処分等検討します。	討委	員会に	0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主	体の	ノウハウヤ	や新たな制	度を	圧活用できる。		0	できる	0	できた	はい	05 V 1 C 1X	n) O & 9 ,			0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員	と成	果の関係で	で、実施手	段等	手を見直す余 地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契	約方	法の変更な	よどにより	コフ	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						_	次訊	7価									次評	価				
	評値	点点	必要性		有効性	達成原	茰	効率性	総合評	' 価		必要	性	1	与効性	達成原	茰	効率	生	総	合評	価
			3		4	2		4	A			3			4	2		4	_		A	
		きのは	○拡大・				0		〇 民間委詞	七寺			大·充			大維持 ##=175		方法改善		○ 民間	委託	<u>:</u> 等
A	יוכ	中性	○ 縮小	С	統一/統	※期設定	0	廃止/休止) 縮			統合/終 <mark>評価での</mark>)	廃止/休		の相違と	<u> </u>	
C T	ᄣ	面の											-	— //		/]日]向于人	只汉(ТЩС	の旧连点	`	
Ï	課		貸付等可能	な財	産を貸付け	します。																
0											केत	23名中:	÷∧≠	· 六十32	・田 いまご	答明 1一	壱 +	いがり事名	z ★ ː俳	ル ァエキ!	,	
Ν	改革	革案									Ē	1 理划 /	生の行	知记	用と適正	官理に能	思し6	いり事形	で進	めてしら	, 1 ₀	
			今後も継続	してし	1きます。																	
	計	画																				
	委員指摘	●会 事項																				

	No. 5 -	18 基本事務事業領	本庁舎管	理事務		事務事業	業名 庁	舎設備維持管	理事	务	公的関与 3	シ	ート作成日	平成24年	₹7月20日
	部局名	総	務部		課名	企画記	果	主務課長	名	吉	田一夫		- 卜作成者名		本史郎
	事業区分	○ 1 ソフト事業			Z常的事務事業			金·負担金·叏		車茶港	堂方法 💆		営		全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事			を設の維持管理 ・ ・		6 内部	管理事務・その	の他	尹未坦			·部委託	4 裤	助等
		基本構想(政策						実施計画					の開始・終了	•	
	総合計画	基本計画(施策	<mark>)</mark> (5)自立·	持続可	能な地域経営	の推進	C			平成	年 ~	• 平		✓ 期間	設定なし
		主要施策					<u> </u>	2 非該当		根拠》	去令等 阿	波市庁	舎管理規則		
		対象(誰を、 何を)	舎設備												
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし	終的 庁舎の	D機能を	十分に発揮させ	せます 。									
PL		たいのか) 今	年度												
AN		具体的にどのよ		行います	すか。(主なもの	か5つまで	で)								
Ν		保安警備業													
	事業の	電気保安業													
	活動内容	浄化槽維持													
		空調設備保													
		自動ドア保守		- P = 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	61 4 40 1	W / -					Ti -1	I		to the	
		指標名			指標設定理由	単位	□ +m	平成 22	牛及		平成 23 年	·医	平成 24	牛度	最終目標
	数値目標		指標記 設定し		じまないため		目標								
	(事業の目的 及び活動内		DO TO	/ & V 1 ₀			実績目標								
	及び活動内 容の達成度						実績								
	を測る指標)						目標								
							実績								
	予算費目	会計		-般会計	+	款	2 総	務費		項 1	総務管理費	<u>.</u> ₿	目 2	財産管理費	
			平成	22	年度決算	平成	23	年度決算	平月		24 年度			備考	
		国庫支出金	2		千円			千円				千円			
		県支出金			千円			千円				千円			
	直接事業費	地 方 債			千円			千円				千円			
D	且汉尹未貝	その他特定財源			千円			千円				千円			
0		一般財源	泵		2,267 千円			2,510 千円				1 千円			
		計(A)			2,267 千円			2,510 千円) 千円			
	L //L === / = :	正職員工数·経費		١,	698 千円	0.223	人	1,348 千円	0.3	06 人	1,824	4 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職種			0 =	0.000			0.0	00					
	人生士	臨時·嘱託工数·経動	9 0.000 人	۸	0 千円	0.000	人	0 千円		00 人		1			
	全体事	業費(A + B)			2,965 千円			3,858 千円			4,704	4 千円			

				エ	ェック項目						欠評值	H		_	-次評価	თ≐∺i	П		二次	≐亚/ #	5
		1 4				- Jul. 1.	ジャクーナッグ	7 /l. o that			人計川	Щ	21						<u></u>	. 古干 1川	
	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \						「確保できる等 ジ響は大きくな			少ない	0	大きい	三	業務逐行 要です。	のため、	厅音官	言埋か必	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政な	犬況の中、次	年度以降第	€施す	る緊急性が認	ぬられない。		0.0.	0	ある							ない	•	ある
	性						法等の改善の余	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	ある	0	ない						•	ある	0	ない
		4 .		D低下がみら ごスとなって		「隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない						0	เาอ	•	いない
		1 .	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	字が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	0	いえる			理されて する恐れ			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	0	いえる	J.	717 IZ.VID	17 8/0/11	יכט נוו	7690	0	いえない	•	いえる
C	姓	3 .	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	夏した	事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない						0	する	•	しない
Ηш		4 .	事業の継続を	としても成果	の向上が其	月待で	ぎきない。		0	できない	•	できる						0	できない	•	できる
υK		1 .	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	こいる	と思う。		0	目標にと	上べて針	らっている			:最低限の 減してい		に抑え、	0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2 .	目標設定に対	付して成果が	あまり上た	バって	いないと思う	Ö.	0	あまり上	がってし	ない	T.	注負で即	//%, O C V 1	ΔУ,		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね目	標を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達用	戊してい	13						•	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	 して	いると思う。		0	十分達	成してい	13						0	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べて	てコストが高	<i>۱</i> ۱.				0	高い	•	適当			り入札に契約も導			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できない		スポルドロがじ す。	;大河 U 与	:/(0	. 110	0	できる	•	できない
	华性	3 .	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施手	-段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	内方法の変更	などにより	コス	くト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		•			_	次評	'価								_	次評	価				
	並ん	西点	必要性	有効性	達成	叓	効率性	総合評	<u>′</u> 価		必要	性	有	効性	達成	度	効率性	生	総	合評	価
			3	4	3		4	A			3			4	3		4	_		<u> A</u>	
		後の	○ 拡大·充	_	状維持		方法改善	〇 民間委託	光等	C		大·充实			米維持		方法改善			委記	t等 ———
Α	יול	句性_	○ 縮小	○ 統合/約	冬期設定	0	廃止/休止) 縮/			統合/終			廃止/休		のおかり		
C	\I/=	= _	·» <u> /</u> #	+ 1×+1+-111	-, , <u></u> , .»	*~ - -	· ^ !_ 10/	+-U#D44				_	八百	*1Щ (*())	が相関争り	貝及(ゾー次評	1ЩС	の相连点	ι	
TI			りへ (の設備 慮しつつ、維打			新厅	舎に移行する	までは質用対象	切果で	生有											
0	卟	是	思しフラ、流	内日廷に刃の	٥,,																
N	과	革案								継	続して	、効率的	的な行	管理を行	って下さ	l١.					
			今後も継続し	て維持管理を	行います。																
	計			- WEJ J EI FE C	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,																
		員会																			
		事項																			

	No. 5 -	19 基本事務事業	名 本月	「舎管理 🤄	事務	事	務事業	名 庁	用物品購入事	務		公的関与	3 シ	ート作成日	平成245	年7月20日
	部局名	Ž.	総務部		課名		企画課		主務課長		큳	田一夫	シー	-卜作成者名	牧	(本史郎
	事業区分	● 1 ソフト事			3 経常的事務		_		金·負担金·克		車業温	運営方法		営		全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事			4 施設の維持		0 (5 内部	管理事務・そ	の他	学未足	10円の		·部委託		甫助等
		基本構想(政策							実施計画					の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策	〔5〕 (5)	自立·持續	続可能な地域	経営の)推進	0	1 該当		平成		~ 平			設定なし
		主要施策						O	2 非該当		根拠	法令等	可波市財	務規則、地方	自治法	
		対象(誰を、 何を)	舎用備	品												
	事業の 対象・目的	目的(どうい 量う状態にし	最終的	庁舎用備	品の購入をしま	ます。										
P L			今年度													
ΑZ		具体的にどの。		5動を行し	1ますか。(主	なもの	5つまで	')								
Ν		備品の購入	(
	事業の															
	活動内容															
		指標名			ては指標設定理		単位		平成 22	年度	芰	平成 23 年	丰度	平成 24	年度	最終目標
	数値目標				こになじまないた	め		目標								
	(事業の目的			設定しなし	, I <u>,</u>			実績								
	及び活動内							目標								
	容の達成度 を測る指標)							実績								
	C/X1 Ø 1 日 1 x /							目標								
	マ質典ロ	<u> </u>		ήЛ	스러		生力	実績	(4) 建		西山	ᄵᄵᆇᄼᅂᅖ	建		財産管理費	±.
	予算費目	会計	1 17/	— _版 ·成 2	会計 2 年度決	谷	款 平成	2 総 23	^{労貿} 年度決算	1 17	<u>項 1</u> ☑成	総務管理 24 年度	買 医予算	目 2	^{財産管理員}	
		国庫支出:		· ЛХ, — Z.		异 一	十八人	23	一 	_	- Љ.	24 牛店	ž J′异 千円		佣伤	
			<u>亚</u> 金			千円				_			千円			
			<u>亚</u> 債			千円			千円				千円			
D	直接事業費	その他特定財				千円			千円				千円			
0			源		1,273				3,153 千円			4.3	74 千円			
		計(A)	11/35		1,273				3,153 千円				74 千円			
		正職員工数·経	費 ()	135 人			0.135	λ	816 千円	_	.218 人		00 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職和		/\	027			`		- 51		1,0				
	, , , ,	臨時·嘱託工数·経		000 人	0	千円	0.000 ,	المار	0 千円	0.	.000 人		0 千円			
	全体事業	業費(A + B)			2,100				3,969 千円			5,6	<mark>74</mark> 千円			

				T.	ᇕᄼᇙᄆ					,	方言では	-		^/2 = □ / 표 .	Λ≐ Αι	10		— \ <i>h</i>	,÷\\\\\
					ロック項目		N-1-1-	- 41			欠評価	Ц		一次評価				次	:評価
	٠.	1 .					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きい)ある備品 ています。		を厳選し	0	少ない	● 大きい
	必要	2 .	厳しい財政状	犬況の中、次年	丰度以降美	[施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	•	ある					0	ない	ある
	性						法等の改善の余	•	0	ある	•	ない					0	ある	● ない
		4 .		D低下がみられ <mark>ごスとなって</mark> し		隣自	治体と比較し	ノてニーズを 	0	เาอ	•	いない					0	เาอ	いない
		1 .	施策の目的を顕	実現するために	、事業内容	₹が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	•	いえる		るのものを で、経費質			0	いえない	● いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ノネリ化など、)	施策への貢	献度力	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	•	いえる	ます。	(八) (江) (八)	<i>, 11-7</i> , 1C	2.613 7	0	いえない	● いえる
C	性	3 .	市が実施する	る施策の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない					0	する	● しない
Ξш		4 .	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	持て	ごきない。		0	できない	•	できる					0	できない	● できる
υK		1 .	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	:IIZ	らと思う。		0	目標にと	上べて劣	らっている	行政の執 執行され	対行計画が	「基本	となって	0	目標に比り	べて劣っている
	達世	2 .	目標設定に対	付して成果がる	あまり上か	べって	いないと思う		0	あまり上	がってい	はい	→ #M1 J C 1 (JA 9 ,			0	あまり上が	っていない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね目	票を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達用	戊してい	3					•	概ね達成	している
		4 .	目標設定に対	すして十分に	目標を達成	tして	いると思う。		0	十分達	或してい	13					0	十分達成	している
		1 .	効果に比べて	Cコストが高い	،۱。				0	高い	•	適当		のは随意			0	高川	適当
	効率	2 .	他の実施主体	^本 のノウハウ [・]	や新たな制	度を	活用できる。		•	できる	0	できない	す。	, A 0 0 7 1 A 7	7 (16)	-1476	•	できる	○ できない
	性	3 .	予算・人員と	ヒ成果の関係で	で、実施手	-段等	を見直す余 地	也がある。	•	ある	0	ない					0	ある	● ない
		4 .	電子化や契約	的方法の変更7	などにより	コス	スト削減の余地	也がある。	•	ある	0	ない					•	ある	○ ない
					_	次評	価							_	次評	·価			
	評値	画点	必要性	有効性	達成原	芰	効率性	総合評	' 価		必要的	性	有効性	達成	度	効率	生	総	合評価
			4	4	3		1	B	~ ~~		4		4	3		2		<u> </u>	B
		复の 句性	○ 拡大・充		大維持 期設定		方法改善 廃止/休止	〇 民間委託	比寺	C		ト・充実		大維持		方法改善 廃止/休			引委託等 ————
A C	יו כל	山土			※ 州	0	廃止/ 怀止)和日乙)	統合/終 <mark>マ評価での</mark>		_			の相違点	<u> </u>
ر ح	当市	面の	はいしょ なの			المخدا							Ситри С о	> 10 110 2. .	~~	J //(H1	ТЩС	or IACE M	<u> </u>
Ι		題	はかにも週用	できる物品が	ないかを検	語し	ま り。												
0											括購入	いこより. :	経費の削減	或が図られ	こてい	ます。継続	売して	・事務をi	進めて下さい。
Ν		车案									ינות	(100,)(1	T 25 02 111/1	λ/3 Д 3 1				(- 3)) C x	= • > C C •
			必要なものだ	けを購入しまる	f .														
	計																		
		員会 事項																	

	No. 5 -	20 基本事務事業名	本庁舎管理	理事務	事	務事業名	庁舎防火管理	事務		公的関与 3 シ	一卜作成日 平月	成24年7月20日
	部局名	総	務部	課名		企画課	主務課		吉	田一夫 シー		牧本史郎
	事業区分	● 1 ソフト事業		3 経常的事			輔助金·負担金		事業運			3 全部委託
	争来匹力	○ 2 ハード事		◯ 4 施設の維		O 6 F	内部管理事務·		尹未廷		-部委託 📗	4 補助等
		基本構想(政策					実施計	Щ			の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施策)	(5)自立・	持続可能な地域	或経営の	推進	○ 1 該当		平成		成年	期間設定なし
		主要施策					● 2 非該当		根拠法	卡令等 消防法		
		対象(誰を、 何を) 庁 _行										
	事業の 対象・目的	目的(どうい <mark>最</mark> う状態にし	終的 庁舎を	と火災から未然に	防ぎます	0						
P L			年度									
ΑZ		具体的にどのよ		テいますか。(主	なもの	つまで)						
N		消防設備保守	宁点検業務									
	事業の											
	活動内容											
		指標名		式又は指標設定		単位		22 年原	夏 引	P成 23 年度	平成 24 年原	度 最終目標
	数値目標			设定になじまない?	ため		標					
	(事業の目的		設定し	ない。			績					
	及び活動内 容の達成度						標					
	谷の)達成長 を測る指標)						績					
	C//(3 G) L (///)						標					
	予算費目	会 計	_	·般会計			[績		項 1	総務管理費	目 2 財産	答 理弗
	」/异貝日	즈 티	平成	22 年度決			1総份員 23 年度決議	쓸 기	<u> 頃 </u> 			^{長连夏} 考
		国庫支出金		22 牛皮//	千円 千円	L light 7		拜 T 千円	L11% 7.	<u> </u>	I/R	1.2
		県支出金			千円			f円		千円		
		地方			千円			. 13 千円		千円		
D	直接事業費	その他特定財源			千円			····· 千円		千円		
Ō		一般 財源		84	千円			千円		84 千円		
		計(A)			千円		84			84 千円		
		正職員工数·経費	0.046 人).046 人			.046 人	274 千円		
	人件費(B)	臨時·嘱託職種										
		臨時·嘱託工数·経費		0	千円 ().000 人	0	千円 0	.000 人	0 千円		
	全体事業	業費(A + B)		366	千円		362	千円		358 千円		

					チェ	ック項目						次評値	THE STATE OF THE S	_	-次評価の	が記		_	次評	'픎
		1	市が宝施し	かくて			性か	が確保できる等	生他の実施						火 がら未然		沙 華			
								/ 響は大きくな		\circ	少ない		大きい	がありま		KICPJ V	必安	○ 少ない		大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある					○ ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上の	ために、	現在の手段	& 、方	法等の改善の急	余地がある。	0	ある	•	ない					○ ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ 上回るサー				[隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	•	いない					O 113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	1 0	いえる	火災を防産を守り	うぐことによ ます	り、市民	の財	○ いえない	1 (いえる
	有	2 .	事業内容のマ	ンネリケ	化など、旅	施策への貢	献度 <i>t</i>	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1 🔘	いえる	圧を切り	۵۶,			○ いえない	1 •	いえる
С	効性	3 .	市が実施す	る施策	の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					○ する	•	しない
HE		4 .	事業の継続	をして	も成果の)向上が期	待て	ごきない。		0	できない	1 •	できる					○ できない	1 •	できる
C K		1.	目標設定に	対して	進捗状況	ひが劣って	いる	らと思う。		0	目標に	上べて針	兮っている		基づき、消		等の	○ 目標に	比べて	劣っている
•	達	2 .	目標設定に	対して	成果があ	まり上が	「って	いないと思う	ö.	0	あまり上	がってし	1ない	一只快を美	€施していま	. 9 .		○ あまり上	がって	ハない
	成度	3 .	目標設定に	対して	概ね目標	悪を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達							● 概ね達	戏して	13
	^	4 .	目標設定に	対して	十分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分達							○ 十分達	成して	113
		1 .	効果に比べ	てコス	トが高い	١.				0	高い	0	適当		売契約を導ん	入してい	ŧ	○高い	0	適当
	効	2 .	他の実施主	<u></u> 体のノ	ウハウギ	新たな制	痩を			0	できる	•	できない	す。			Ī	○ できる	•	できない
	率性	3 .	予算・人員	と成果	の関係で	:、実施手	段等	手を見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない				İ	ある	•	ない
		4 .	電子化や契	約方法	の変更な	こどにより	コス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない					🔾 ಹಕ	•	ない
						_	次評	· 価								欠評価	<u> </u>			
	並ん	点点	必要性	╡	剪効性	達成原	芰	効率性	総合評	<u>′</u> 価		必要	性	有効性	達成度	₹ 3	効率性	± /	総合語	平価
			4		4	3		4	A			4		4	3		4		A	1 -
		後の	○拡大・変		● 現物			方法改善	〇 民間委託	计等			大·充実				法改善		間委	託等
Α	יול	9性	○ 縮小	0	統合/終	·期設正	0	廃止/休止)縮/)				止/休.	<u>に </u> 価との相違	$\overline{\pm}$	
C	ᅶ	π Δ	亡金の当社	±л⊯∽	ᄱᅲᆂᆄ	·~≠ ±□	∸♠≀	- 1 2 +	51十 6046年1 +>15	++- 1-	₽ <i>+</i> \		/	人計画での	ノ拍摘事場	及び一			从	
T	貫		げ音の消防i りません。	は イオリング	'休寸 点快	とどり。新か	丁吉は	こ移転するまで	ゴは、継続しなし) 1 blc	7.0									
ō	HZIN	. ACS	701 270																	
Ν	改革	案									——— <u> </u>	続して	、適止管	理に努めて	てトざい。					
	と事	€行	今後も継続し	Jます。																
	計	画																		
	委員	員会 事項																		
	扣付	尹坦																		

	No. 5 -	21 基本事務事業	業名 本月	广舎管理 事	事務	事務	事業名	庁舎清掃事務			公的関与	3 シ	一卜作成日	平成24	年7月20日
	部局名		総務部		課名		画課	主務課		吉	田一夫	シー	-卜作成者名	i 4	女本史郎 (1)
	事業区分	○ 1 ソフト事	業		3 経常的事務	事業(助金·負担金		車茶温	営方法		営		全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持		● 6 内]部管理事務‥		学 未进	音刀仏		·部委託		補助等
					共に築くまちて			実施計画	町				の開始・終゙		
	総合計画	基本計画(施第	策) (5)	自立·持續	続可能な地域終	圣営の推	進	○ 1 該当		平成	年	~ 平			間設定なし
		主要施策						● 2 非該当		根拠》	去令等	建築物に	おける衛生的	環境の確	保に関する法律
		対象(誰を、 何を)	宁舎												
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	庁舎を清	潔にし、来庁者な	や職員の復	新生的 環	境を確保します	0						
P L			今年度												
ΑZ				5動を行し	\ますか。(主な	もの5つ	まで)								
N		庁舎清掃第													
	事業の	庁舎衛生管	管理業務	Z J											
	活動内容														
		T 4						- B			- 1		- N		
		指標名			は指標設定理			平成	22 年	<u></u>	平成 23	牛塻	平成 24	牛度	最終目標
	数値目標			指標設定 設定しなし	になじまないため	か	且								
	(事業の目的			改化しない	, 1,		実					-			
	及び活動内 容の達成度						1 実								
	を測る指標)						目								
							実								
	予算費目	会 計		一般	会計			総務費		項 1	総務管理	 !	目 2	財産管理	費
	, , , , , ,		平	成 2					草			夏 予算		備考	
		国庫支出				円	<u>-</u>	7	-円			千円			
			金		Ŧ	円		7	-円			千円			
	直接事業費	地 方	債		Ŧ	- 円		=	一円			千円			
D	且按爭未貝	その他特定財	源		Ŧ	- 円		=	一円			千円			
0			源		3,176 ∓	円		3,175 ∃	一円		3,5	76 千円			
		計(A)			3,176 1			3,175				76 千円			
		正職員工数·紹		150 人	919 T	円 0.15	50 人	907 =	一円 0).233 人	1,3	<mark>89</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職													
		臨時·嘱託工数·絲	圣費 0.	000 人	0 =		00 人	0 =).000 人		0 千円			
	全体事業	業費(A + B)			4,095 ∓	円		4,082	一円		4,9	65 千円			

					チェ	ック項目					_	次評値	西		_	-次評価の	の説	明		二次	:評值	Б
		1 .						が確保できる等 <u>/</u> 響は大きくな		0	少ない	0	大きし	l I		t、常に衛st があります		は環境を	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	伏況の	中、次年	E度以降第	€施す	「る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上の	ために、	現在の手具	殳、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ(上回るサー				「隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない	١,					0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現す	るために	、事業内容	字が必	がずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	1 0	いえる	3	来庁者や確保しま	職員の衛	生的	環境を	0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリイ	化など、放	施策への貢	献度加	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	1	いえる	3	唯体しる	9 0			0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施する	る施策	の中で類	類似・重複	夏した	=事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	, 1					0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続	をして	も成果の	向上が期	月待て	できない。		0	できなし	1 •	できる	3					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	対して	進捗状況	兄が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて纟	劣ってい	3		のほか、 ジガラスのジ			0	目標に比	べて劣	うっている
	達成	2 .	目標設定に対	対して	成果があ	まり上か	バって	いないと思う	ò.	0	あまり上	がってし	ハない		ど、衛生に	的な環境を			0	あまり上が	ってい	ない
	度	3 .	目標設定に対	対して	概ね目標	悪を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達	成してい	13		めていま	9.			•	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	対して	十分に目	標を達成	 して	こいると思う。		0	十分達	成してい	113						0	十分達成	してし	13
		1 .	効果に比べる	てコス	トが高い	١,				0	高い	•	適当		長期継続 す。	契約を導	入して	ていま	0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主任	体のノ	ウハウギ)新たな制	度を	E活用できる。		0	できる	•	できた	ない	,				0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員の	と成果	の関係で	ご、実施手	-段等	手を見直す余 均	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法	の変更な	こどにより	コス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	0	ない						•	ある	0	ない
							次評	** *									次評					
	評值	点面	必要性	有	可効性 4	達成原	芰	効率性 3	総合評	[個		必要	性	1	与 効性 4	達成[芰	<u>効率</u> 物 3	生	総	合評	" 価
	今後	後の	 ○ 拡大·ダ	実	● 現北			<u> </u>	○ 民間委i	托等			 大·充	 実	 ┃		\bigcirc	<u> </u>			<u>~</u> 引委:	託等
Α		対性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止				縮		0	統合/終			廃止/休	-			
C				-									-	二次	評価での)指摘事项	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	ā	
T			建築物環境復 ます。		準に従い	建物の維	持管	理をするため、	清掃業者に委	託し	てい											
0	HZN	۸۳									١	1 2 4 ± ±	c /生/4	⊢ ሰ⁄⊐ ≠	·> <i>4</i> 在+± <i>2</i> ≤1	星を行って	 -+ı	,				
Ν		革案	今後も同様に	- 継続	,≢ਰ						٦		2、1年1.土	EDY4	4年1寸目15	±で1] ノ C	rcv	10				
	計		/ 反 0円水化	— mcz nyb 1																		
		員会 事項																				

	No. 5 -	22 基本事務事業	名本月	广舎管理	事務	事務事業	業名 会	議室管理事務		公的関与	3 シ	一卜作成日	平成24	年7月20日
	部局名		総務部		課名	企画記		主務課長領		吉田一夫		-卜作成者1		本史郎
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事]金·負担金·支		 美運営方法		営		全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事			4 施設の維持管		6 内部	『管理事務・その	D他 ^{丁才}	建合刀心		·部委託		補助等
					. 共に築〈まちづ〈			実施計画				の開始・終		
	総合計画		₹) (5)	自立·持	続可能な地域経営	営の推進	C		平月		~ 平	成 f	ド 少期	間設定なし
		主要施策						2 非該当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	舎会譲	室										
	事業の 対象・目的	目的(どうい 5 分状態にし	是終的	グループ	ウェアにより、会議	室を効率的	りに貸し	出します。						
P L			年度											
A N				5動を行し	\ますか。(主なも	の5つま	で)							
Ν		会議室の貸	出し											
	事業の													
	活動内容													
		+12+=1.2		1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2		W / L		TI CT 00	左曲	TI C* 00	左曲	TI = 1 C	4 左南	
		指標名			スは指標設定理由	単位	□ 	平成 22	年 度	平成 23	牛及	平成 2	4 年度	最終目標
	数値目標			指標設定 設定しな	こになじまないため い		目標実績							
	(事業の目的 及び活動内			DE UA	V 1 ₀		<u>夫</u> 領							
	容の達成度						実績							
	を測る指標)						目標							
							実績							
	予算費目	会計				款		'	項			目		
				成 2	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 年	度予算		備考	
		国庫支出:			千円			千円			千円			
			金		千円			千円			千円			
	直接事業費		債		千円			千円			千円			
D	五汉于木兵	その他特定財			千円			千円			千円			
0			源		千円			千円			千円			
		計(A)	建	444	0 千円	0.405		0 千円	0.000		0 千円			
	人件費(B)	正職員工数·経 臨時·嘱託職和		114 人	698 千円	0.125	人 <u> </u>	756 千円	0.208	1,	<mark>240</mark> 千円			
	八 十 貝 (D)	臨時·嘱託工数·経		000 人	0 千円	0.000	人	0 千円	0.000	.	0 千円			
	全体車	業費(A+B)	· 典 U.	000 <u>/</u>	698 千円		<u> </u>	756 千円			240 千円			

				チェ	ック項目					_	-次評	価		_	-次評価(の説ほ	仴		二次	:評価	ī .
		1 .	市が実施しな主体があり、	くても、公平 事業を廃止・	性・公正 休止して	性がも影	確保できる等 響は大きくな	いん 他の実施い。	0	少ない	1	大	きい	会議室使 す。	甲時の予	約に	必要で	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政状	況の中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	3められない。	0	ない	(ある	3					0	ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の向	上のために、ヨ	見在の手段	ł、方	去等の改善の余	余地がある。	0	ある	(なり	l I					0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの 上回るサービ	低下がみられ スとなってい		隣自	治体と比較し	てニーズを	0	いる	() li	ない					0	113	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために、	事業内容	が必っ	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	:61) l1;	える		れば、グ き状況ので			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ネリ化など、施	策への貢献	献度が	著しく高いと	はいえない。	0	いえな	:11) (1;	える	す。	C 1/(/)[07]	住心 /J	(68	0	いえない	•	いえる
UI	性	3 .	市が実施する	施策の中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	() U1	ない					0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続を	しても成果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	:61	でき	きる					0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	して進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて	劣って	เกอ)数が少な を達成で 。			0	目標に比	べて劣	らっている
	達成	2 .	目標設定に対	して成果があ	まり上が	って	いないと思う) _o	0	あまり.	上がって	いない	١	100 H 100	C.E.M. C.		ω,	0	あまり上か	ってい	ない
	度	3 .	目標設定に対	して概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね遺	達成して	いる						0	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	して十分に目	標を達成	して	いると思う。		•	十分道	達成して	こいる						•	十分達成	してい	13
		1 .	効果に比べて	コストが高い	0				0	高い	(適	当		゚゚ウェアのſ ゚゚゚゚゚゚ められて			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	のノウハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	(でき	きない	本のこと	507516C	V 1 & 9	0	0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員と	成果の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	(なり	l I					0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	方法の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	(なり	l I					0	ある	•	ない
						次評(.次評					
	評值	点面	必要性	有効性 4	達成原	甚	効率性 4	総合評	[個			要性 1	1	与 効性 4	達成 <i>/</i> 4	叓	<u>効率</u> 4	性	総	合評	2価
	今後	きの	<u> </u>	•	•		 方法改善	○ 民間委託	托等			· 大·	_ <u></u> 充実		 犬維持		<u></u> 方法改	<u> </u>	○ 民間	多	 托等
Α	方向	自性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定		廃止/休止		_		新	小	0	統合/終			廃止/休			_	
С													二次	評価での)指摘事I	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	ā.	
TI	当四課	題の	職員以外の団の他施設の使	体等についてI 用を案内してい	ま貸出基≧ \ます。	準かな	く、 空調等の	問題もあり、公	說另(₹											
0					-					4	烘結1.	ア車系	タを 准	めて下さい	١						
Ν		案	△ 从+///// + Ⅰ	- 						ħ	近形じし	C JI 1	7616	ט כ ויכע	10						
	計		今後も継続しま	59 。																	
	委員 指摘	員会 i事項																			

	No. 5 -	23 基本事務事業	名 本月	r 舎管理事	事務	事	事務事 第	く と	用車管理事務		1	公的関与 3	シート作成日	平成24年	F7月20日
	部局名	Si si	総務部		課名		企画説	果	主務課長	名	吉田	日一夫 シ	/ート作成者名	牧	本史郎
	事業区分	○ 1 ソフト事	業		3 経常的事務			5 補助	金・負担金・支	援	業運営	± ± 1	直営	3 全	部委託
	争未匹力	○ 2 八一ド事			4 施設の維持		•	6 内部	管理事務・その	D他 ³	未连己		一部委託	4 補	助等
		基本構想(政策							実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策	(5)	自立·持約	売可能な地域	経営0	の推進	C			P成		平成 年	✓ 期間	設定なし
		主要施策						•	2 非該当		根拠法	令等 阿波市	有車両管理規則		
		対象(誰を、 何を)	用車												
		目的(どうい 最 う状態にし	是終的	効率的か	つ安全に使用	できる。	ようにしま	ます。							
P L		たいのか) 4	年度												
A		具体的にどの。		動を行い	ますか。(主	なもの	5つまで	で)							
Ν		公用車の貸													
	事業の	公用車の整	備												
	活動内容														
		16.12. 6		+1.65-1:57		m [W /A			F	T		T - 4	he de	
		指標名			は指標設定理		単位	□ +m	平成 22	牛医	<u> </u>	成 23 年度	平成 24 3	中医	最終目標
	数值目標			指標設定 設定しなし	になじまないた ヽ	め	ŀ	目標 実績			+				
	(事業の目的 及び活動内			RXE U & V	10			 目標							
	及び活動内 容の達成度						H	実績							
	を測る指標)							目標			+				
							ŀ	実績							
	予算費目	会計		一般:	会計	•	款	2 総	務費	項	1 4	総務管理費	目 2 月	材産管理費	
			平	·成 22	2 年度決	算	平成	23	年度決算	平成	24	年度予算		備考	
		国庫支出金				千円			千円			千日	"		
			金			千円			千円			千F	円		
	直接事業費		責			千円			千円			千F			
D	五汉子未兵	その他特定財法				千円			千円			千F			
0			原		6,844				7,737 千円			10,332 ∓F			
		計(A)	***		6,844		0.455		7,737 千円	0.000		10,332 ∓F			
		正職員工数・経		114 人	698	千円	0.155	人	937 千円	0.238	人	1,419 千F	<u>"</u>		
	人件費(B)	臨時·嘱託職科		000 1	0	7 F	0.000	1	0 7.5	0.000	1	0	T.		
		臨時·嘱託工数·経 業費(A+B)	貝 U.	000 人	7,542		0.000	<u> </u>	0 千円 8,674 千円	0.000	<u> </u>	0 千F 11,751 千F			
	工件等。	大具 (ハ'ロ)			7,072	ııJ			U,U, T			11,731	J		

			チェック項目		_	次評価		_	-次評価の説	明		二次	評価
		1 .	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	0	少ない	大	きい	安全·効薬 必要です	率的な公用車 。	の使用に	〇 少	ない	● 大きい
	必要	2 .	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	0	ない	あ	3				な	:61	ある
	性	3 .	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	•	ある	な	:61				あ	53	○ ない
		4 .	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを 上回るサービスとなっている。	0	เาอ	• 11	ない				O 11	13	● いない
		1 .	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	0	いえなし	,ı • ,ı	える		れば、グルー き状況の確認		O 11	えない	● いえる
	有効	2 .	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	0	いえなし	11 • 11	える	す。また、	定期的な整備		O 11	えない	● いえる
С	性	3 .	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	0	する	● b	ない	全性が傩	保されます。		ं र	-S	● しない
HE		4 .	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	できなし	.1 • で	きる				で	きない	● できる
C K		1 .	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	0	目標に	比べて劣って	こいる		り台数が不足 す。また、低年			標に比/	べて劣っている
	達世	2 .	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	0	あまり上	こがっていない	.1		が増えていま		<u></u> ත	まり上が	っていない
	成度	3 .	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	•	概ね達	成している					● 概	[ね達成し	している
		4 .	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	0	十分達	成している					0 +	分達成	している
		1 .	効果に比べてコストが高い。	0	高い	● 適	当	効率的な 減します。	運用により、	経費を節		āl I	● 適当
	効率	2 .	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	できる	で	きない	11-3,000,0			で	きる	● できない
	性	3 .	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	0	ある	な	:61				O あ	53	● ない
		4 .	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	0	ある	な	:61				O あ	53	● ない
			一次評価						二次記				
	評值	点面	必要性 有効性 達成度 効率性 総合評	価		必要性	1	j効性 4	達成度 3		生	総	合評価
	今後	きの		£等			 充実	● 現状		_ 	善	民間	<u></u>
Α		自性		<u> </u>)縮小	0	統合/終			-		
C							二次	評価での	指摘事項及	び一次評	価との	相違点	į.
T	当直	題	21年度に大規模な入替を実施しましたが、一部の車両は継続使用されてめ、故障が多くなっています。	いる	た								
O	小木	疋巳	の、「政権が多くなりでいるす。			— 65 TM . —			T + 604 (+ 1	-			
Ν		草案				元管埋に	よる効	率的な連	用を継続して [⁻]	トさい。			
	と3 計		管財担当での公用車一元管理を継続します。										
		員会 事項			_								

	No. 5 -	24 基本事務事業	名 本庁	舎管理事	事務	事	務事業	名 駐車	車場管理事務	务		公的関与	3 シ	ート作成日	平成24	年7月20日
	部局名	ź.	総務部		課名		企画課		主務課長		丰	田一夫		-卜作成者名	4	本史郎
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				金·負担金·克		車業温	営方法		営		全部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事			4 施設の維持			6 内部	管理事務・そ	の他	尹未足	自力仏		-部委託		補助等
		基本構想(政策							実施計画					の開始・終		
	総合計画	基本計画(施策	(5)	自立·持約	続可能な地域	経営の	推進	0	1 該当		平成	年	~ 平	成 年	三 / 期間	聞設定なし
		主要施策						O	2 非該当		根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	役所駐	車場												
	事業の 対象・目的	目的(どうい 量う状態にし	是終的	車での来	庁者及び職員	すべてカ	が駐車で	きるよう	うにします。							
P L			年度													
ΑZ		具体的にどの。		動を行い	1ますか。(主	なもの!	5 つまで	·)								
N		土地賃貸借														
	事業の	駐車場管理	!													
	活動内容															
		指標名			くは指標設定理		単位		平成 22	2 年度	夏 📗	平成 23	年度	平成 24	↓ 年度	最終目標
	数値目標				になじまないた	_め		目標								
	(事業の目的			設定しない	, 1,			実績								
	及び活動内 容の達成度							目標								
	谷の)達成長 を測る指標)							実績								
	C//(3 G) L (///)						-	目標								
	予算費目	会計		一般	스타		生力	実績 2 総	以弗		項 1	総務管理	用弗	目 2	財産管理	#
	」/异貝日	五 미	平			笛 7	款 平成	23	海貝 年度決算	117			_{臣貝} 度予算		備考	<u> </u>
		国庫支出:		13X, Z.		异 一	⊤ 11%	23	<u> </u>	_	-11 X	24 +	又 J' 异 千円			
			<u>金</u>			千円							千円			
			責			千円							千円			
D	直接事業費	その他特定財活				千円							千円			
0			原		1,000				1,000 ∓F			1.0	000 千円			
		計(A)			1,000				1,000 ∓F	_			000 千円			
		正職員工数·経	費 0.1	190 人	1,164		0.190 ,	人	1,148 ∓F		.273 人		527 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職和	重													
		臨時·嘱託工数·経	費 0.0	000 人	0	千円 (0.000 ,	人	0 ∓F	9 0.	.000 人		0 千円			
	全体事業	業費(A + B)			2,164	千円			2,148 千F	9		2,6	527 千円			

					チェ	ック項目					_	次評值	T		_	-次評価(の説	明		二次	評信	5
		1 .						「確保できる等 <u>後響は大きくた</u>		0	少ない	•	大きい	١	ないため	辺に公共 、来庁者	及び駆	戦員の駐	0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	伏況の	中、次年	度以降実	[施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある		車場を確 す。	保する必	要がる	ありま	0	ない	•	ある
	性	3 .	住民満足度の	向上の	ために、ヨ	現在の手段	段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない		9.				0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズの上回るサート				「隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	•	いない						0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現す	るために、	事業内容	₹が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	1 0	いえる			は個人の			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリイ	七など、旅	5策への貢	献度だ	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1	いえる		は必要で		,, щ х		0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施する	る施策	の中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない						0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続を	をして	も成果の	向上が期	持て	ぎきない。		0	できない	1 •	できる						0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	対して	進捗状況	ひが劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて纟	片っている			用では、 れていま		は台数分	0	目標に比	べて針	うっている
	達世	2 .	目標設定に対	対して	成果があ	まり上が	べって	いないと思う	ò.	0	あまり上	がってし	ない		75 HE IN C	100018	<i>)</i>		0	あまり上が	ってし	はい
	成度	3 .	目標設定に対	対して	概ね目標	を達成し	てし	ると思う。		0	概ね達	成してい	13						0	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に対	対して	十分に目	標を達成	tして	いると思う。		•	十分達	成してい	13						•	十分達成	してい	13
		1 .	効果に比べる	てコス	トが高い	١.				0	高い	•	適当			庁舎の建]の見直し			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	本のノ	ウハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できな	11		を図る余均			0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員の	と成果	の関係で	:、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法	の変更な	さどにより	コス	(ト削減の余均	也がある。	•	ある	0	ない						•	ある	0	ない
							次評										次評					
	評值	点面	必要性 4	有	i効性 4	達成原	芰	効率性 3	総合評	7価		必要	性	1	与効性 4	達成/	芰	<u>効率</u> 3	生	総	合計	产価
	今後	後の	 ○ 拡大·タ	実	● 現状	•		<u> </u>	○ 民間委i	托等			 大·充写	Ē	● 現北	•		<u>う</u> 方法改善	<u></u>		<u>~</u> [委]	託等
Α		対性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止				縮		Ō	統合/終			廃止/休	-			
C				-									_	次	評価での)指摘事I	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	Ī.	
TI			駐車場用地を 合は、契約の				が、	駐車台数の減	少傾向が認め	られた	場											
0	HZN	۸۳	II IO()CM302	704		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					21	***	· `*	<u>^</u>	里に努めて	-T+11						
Ν		案	当面継続しま	: d							51	さ 続て	:、週正	日功	まに労め(- revi						
	計		山田常芸の	、フ。 																		
		員会 事項																				

### 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		No. 5 -	25 基本事務事業	業名本戶	广舎管理	事務	事務事	業名 庁	舎電話維持管	理事	務	公的関与	3 シ	ート作成日	平成24年	年7月20日
予案に方 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		部局名									吉	田一夫				
A		事業区分									車業温	6 古注				
### 20 日の 1 日の 20 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2 日の 2		争未匹力			_			6 内部		の他	尹未足	一月八仏				輔助等
重要施策																
対象 (i 離を (n を)		総合計画		策) (5)	自立·持	続可能な地域経営	営の推進						~ 平	·成 年	_ ✓ 期間	設定なし
PT PT PT PT PT PT PT PT								●	2 非該当		根拠	去令等				
対象・目的				市庁舎IF	電話シス	テム										
大いのか 今年度				最終的	機器の正	常な運用										
事業の 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 22 年度 平成 23 年度 平成 24 年度 最終目析 指標設定になじまないため 目標 実績 東				今年度												
事業の 指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 22 年度 平成 23 年度 平成 24 年度 最終目析 指標設定になじまないため 目標 実績 東	Α		具体的にどの	ような活	舌動を行い	\ますか。(主なも	の5つま	で)								
指標名	Ν		IP電話シス	ステム機	器保守業務	务										
指標名 計算式又は指標設定理由 単位 平成 22 年度 平成 23 年度 平成 24 年度 最終目析 指標設定になじまないため 目標 実績 東 東 東 東 東 東 東 東 東			機器の維持	诗補修												
数値目標 指標設定になじまないため 目標 実績		活動内容														
数値目標 指標設定になじまないため 目標 実績																
数値目標 指標設定になじまないため 目標 実績			161= 6		1 + 1 66 P =		W /-		T	<i></i>		T -15 1				
Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Specifical Sp			指標名	1			甲位		半成 22	牛皮		平成 23 ¹	中度	平成 24	牛度	最終目標
Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar Bar		数値目標												_		
下の達成度 を測る指標					以近りる	V 1 ₀										
を測る指標) 予算費目 会計 一般会計 款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 2 財産管理費 平成 22 年度決算 平成 23 年度決算 平成 24 年度予算																
実績 事算費目 会計																
予算費目 会 計 一般会計 款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 2 財産管理費 中の 22 年度決算 平成 23 年度決算 平成 24 年度予算 備考 日本事業費 直接事業費 中の 12 総務費 平成 23 年度決算 平成 24 年度予算 備考 日本事業費 上版方 債 中の 中の 中の 中の 日本事業費 中の 中の 中の 中の 中の 中の 日本事業費 中の 中の 中の 中の 日本書 日本書 日本書 日本書 日本書 日本書 日本書 日本書 日本書 日本書																
PO 平成 22 年度決算 平成 23 年度決算 平成 24 年度予算 備考 Image: Light of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the position of the posit		予算費目	会 計			会計	款		務費		項 1	総務管理	費	目 2	財産管理費	
直接事業費 県 支 出 金 千円 千円 千円 千円 その他特定財源 千円 千円 千円 千円 一般財源 554 千円 639 千円 318 千円 計(A) 0 千円 639 千円 318 千円 上職員工数・経費 0.107 人 655 千円 0.107 人 647 千円 0.177 人 1,055 千円 人件費(B) 臨時・嘱託工数・経費 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円				平	成 2	2 年度決算	平成	23	年度決算	平月	式 2	24 年原	度予算		備考	
1						千円			千円]			千円			
D O 日本学業員 その他特定財源 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 1円 1円 318 千円 千円 318 千円 1円 318 千円 1円																
CO 他特定財源 千円 318 千円 千円 計(A) 0 千円 639 千円 318 千円 318 千円 318 千円 1円 1円 <t< th=""><th></th><th>百接重業費</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>		百接重業費														
計(A) 0 千円 639 千円 318 千円 正職員工数・経費 0.107 人 655 千円 0.107 人 647 千円 0.177 人 1,055 千円 人件費(B) 臨時・嘱託職種 場話・電話・電話・電話・ 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円		五汉于未兵														
上職員工数・経費 0.107 人 655 千円 0.107 人 647 千円 0.177 人 1,055 千円 人件費(B) 臨時・嘱託職種 0.000 人 千円 0.000 人 千円 0.000 人 千円 0.000 人 千円	O			源						_						
人件費(B) 臨時・嘱託職種 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円 0.000 人 0 千円			. ,	7 建	407		0.407				77					
臨時・嘱託工数・経費 0.000 人 千円 0.000 人 千円 0.000 人 千円 0.000 人 千円		 /// // / / / / / / / / / / / / / / 			107 人	655 千円	0.107	人	647 千円	0.1	// 人	1,0	55 干円			
		八計買(b)			000 1	<u> </u>	0.000	1	<u>Λ</u> τπ	0.0	00 1		0 ≠m			
★ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		全	<u> </u>	t貞 U.	000 <u>/</u>	656 千円		<u> </u>	1,286 千円		00 人	1.3	73 千円			

					-	ᇄᄼᄚᄆ						\b`≑≖\	/ #			/左並/事	ጉ ≐∺ Γ	10		— \h	=교 /#	=
						ック項目		<u> </u>				次評值	Щ			-次評価				二次	計判	1
								が確保できる等 <u>ジ響は大きくた</u>		0	少ない	•	大きに	۱,	庁内電話 機となっ	ているため	5、現/	宁舎では		少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況	の中、次年	F度以降実	施す	「る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある		システム	を維持して	ていくり	必要があ	0	ない	•	ある
	性							法等の改善の急	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ <u>上回るサー</u>				隣自	治体と比較し	ノてニ ー ズを 	0	เาอ	•	いない	1					0	เาอ	•	いない
		1 .	施策の目的を	を実現	するために	、事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	1 0	いえる	3	機構改革	による部 司様に対			0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマ	?ンネ!	J化など、カ	施策への貢	献度/	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1 0	いえる	3	0, 1001		<i>.</i> 0. C C		0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施す	る施	策の中で舞	頁似・重複	した	上事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	١	1				0	する	•	しない
Ε		4 .	事業の継続	をし	ても成果の	D向上が期	待て	できない。		0	できない	1 •	できる	3					0	できない	•	できる
C K		1.	目標設定に	対し	て進捗状況	兄が劣って	เเล	ると思う。		0	目標に	比べて纟	劣ってい	る	システム機器によ	が古くなっ	てい	るため、	0	目標に比り	べて劣	っている
	達出	2 .	目標設定に	対し	て成果があ	あまり上が	「って	こいないと思う	Ö.	•	あまり上	:がってし	ハない			つあります		多刀"四类	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に	対し	て概ね目標	票を達成し	てし	ると思う。		0	概ね達	成してに	,1る		1				•	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に	対し	て十分に目	目標を達成	して	こいると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べ	ベてコ	ストが高い	١٥				0	高い	•	適当		電話機の	システム い限り、利			0	高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主	体の	ノウハウヤ	か新たな制	度を	E活用できる。		0	できる	•) できた	ì۱	できませ		± < 02	交叉版	\circ	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員	と成	果の関係で	で、実施手	段等	ទを見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない						\bigcirc	ある	•	ない
		4 .	電子化や契	約方	法の変更な	よどにより	コス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
						_	次評	" 価								_	.次評	価				
	評値	点点	必要性		有効性	達成原	莡	効率性	総合評	' 価		必要		1	有効性	達成	度	効率	生	総	合評	価
			4		4	2		4	A			4			4	3		4	_	<u> </u>	<u> A</u>	- h-h-
		後の	○ 拡大・		● 現			方法改善	〇 民間委請	北等			大 充			大維持 #11:10:50:50		方法改善		○ 民間]委	【等
A	力ド	可性	○ 縮小	0	統合/終	期 設正	0	廃止/休止)縮	<u> </u>	<u></u>	統合/終 評価での		•	廃止/休		の相違さ	=	
C	고 보	π.Λ.	シュコニルが	+/+>	っていてた	ム 立亡令	> I — ∓≤	多転するまで維持	生できぇのか	t ∕≎≐⊣			_		は一直に	71日1间争)	貝及し	グ 八計	ТЩС	が作性に	1	
TI	課		システムか る必要があ			の、利川百	i IC13	があるのない。	は (こののい/	作火百万	9											
0	HZIV	2			v						を対	(佐) フ	アン帝打	∏ <i>+</i> >./!	呆守管理を	:ケーナ/ †	ビナハ					
Ν	改革	案									糸 还	統し(、週リ	141	木寸官理で	はなってくん	2611	0				
	と事	€行	当面継続し	ます。																		
	計	画																				
		€ 事項																				

	No. 5 -	26 基本事務事業	名 本庁	舎管理事	事務	事務事	業名	庁舎修繕事務			公的関与	3 シ	ート作成日	平成24	年7月20日
	部局名	142 Wil	務部		課名	企画		主務課長		吉	田一夫		-卜作成者名	i	(本史郎
	事業区分	○ 1 ソフト事業			3 経常的事務			助金·負担金·		車業涯	営方法		営		全部委託
	争来匹力	○ 2 ハード事			4 施設の維持領) 6 内	部管理事務・そ		学 未任	白刀仏		-部委託		補助等
		基本構想(政策						実施計画					の開始・終		
	総合計画	基本計画(施策	(5)	自立·持約	売可能な地域経	経営の推進	İ	○ 1 該当		平成	年	~ 平	成年	☑ 期間	聞設定なし
		主要施策						● 2 非該当		根拠》	去令等				
		対象(誰を、 何を)	庁舎												
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし	終的	老朽化して	ている庁舎の維持	寺管理を行	·います。								
P L			年度												
ΑZ		具体的にどのよ	うな活	動を行い	トますか。 (主な	もの5つま	きで)								
N		庁舎修繕													
	事業の														
	活動内容														
		指標名			(は指標設定理6			平成 2	2 年度	妾 :	平成 23:	年度	平成 24	年度	最終目標
	数値目標				になじまないため		目村								
	(事業の目的		F	没定しない	· l _o		実約								
	及び活動内 容の達成度						目標								
	合の達成長 を測る指標)						実組								
	CM3 G 1 I IM)						目標								
	予算費目	会 計		一般:	소학		実統	_貝 総務費		項 1	総務管理	弗		財産管理	弗
	」/异頁日	ᄍ	平月			款 平成	23		· \ 17			_貝 度予算		備考	貝
		国庫支出会		1), 22	一个人人开 千		Z	十尺八开 千	_	-11 X , 2	· + /:	文 J' 异 千円		佣写	
		県支出る			千				_			千円			
		地方			千							千円			
D	直接事業費	その他特定財源										千円			
0		一般財源			1,014 T			686 ∓I			1.5	00 千円			
		計(A)			, 0 =			686 ∓∣	_			00 千円			
		正職員工数·経動	費 0.1	14 人	698 T		3 人	1,227 千		.286 人	1,7				
	人件費(B)	臨時·嘱託職種	Ē.				· •								
		臨時·嘱託工数·経	費 0.0	00 人	0 千	円 0.000)人	0 手	円 0.	.000 人		0 千円			
	全体事業	業費(A + B)			698 T	円		1,913 ∓।	円		3,2	<mark>05</mark> 千円			

					チェ	ック項目					_	次評(西		_	-次評価(の説に	明		二次	.評作	Б
		1 .						「確保できる等 <u>(響は大きくな</u>		0	少ない	•	大きい	1		部分が損 、修繕が』			0	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の中、	次年	度以降実	[施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある						\circ	ない	•	ある
	性	3 .	住民満足度の	向上のため	うに、 I	現在の手段	段、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ(上回るサート				「隣自	治体と比較し	J てニーズを	0	113	•	いない	١					0	เาอ	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内容	₹が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	.1	いえる	,)		とするもの っています		十画的に	0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリ化な	ど、施	策への貢	献度が	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	.1	いえる	,)	IIDWG C 13	2 (0.00)	• 0		0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施する	る施策のロ	中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	١					0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続で	をしても反	成果の	向上が期	待て	ごきない。		0	できなり	1 •	できる	,)					0	できない	•	できる
C K		1.	目標設定に対	対して進払	步状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて纟	劣っている	3	必要な部 修繕して	3分は、予:	算の貧	節囲内で	0	目標に比	べて劣	うっている
	達世	2 .	目標設定に対	対して成身	果があ	まり上が	べって	いないと思う	٥٠,	0	あまり」	こがってし	ハない			V 100 9 0			0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね	2目標	を達成し	てし	ると思う。		0	概ね達	成してに	13						•	概ね達成	してい	. 3
		4 .	目標設定に対	対して十分	分に目	標を達成	えして	いると思う。		0	十分達	成して	113						0	十分達成	してい	13
		1 .	効果に比べる	てコストか	が高い	٥				0	高い	•	適当		最低限の	機能は維	持で	きるよう	0	高川	•	適当
	効率	2 .	他の実施主体	本のノウノ	ハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できな	ì۱۱	10000)			0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員の	ヒ成果の関	関係で	、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法の変	変更な	どにより	コス	くト削減の余均	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
							次評	** *									次評					
	評值	点面	必要性	有効4	性	達成原	芰	効率性 4	総合評	[個		必要	性	1	与効性 4	達成/	芰		生	総	合評	² 価
	今後	きの		•	現状	<u> </u>		* 方法改善	○ 民間委i	托等			 大·充	実	_ ┃			 方法改善	Ė		_ <u>^</u> 引委記	 托等
Α		自性	○ 縮小			期設定		廃止/休止				縮		0	統合/終			廃止/休	-			
С				- -									_	二次	:評価での)指摘事I	頁及7	ゾー次評	価と	の相違点	Į.	
TI			老朽化が激し ます。	ハので最	低限(の修繕は	必要 つ	ですが、その判	断が難しくなっ	てき	てい											
0	H/N	, AECS	ω , .								×	:亡本7	:++≐π√∕∕√⋅	+ =	te a sta	57 11/1 +>41+	± 242 TB	またにって		,		
Ν		革案	<i>1</i> 5.22.1.55	V = 1	4- 10 -4-						汞		连议饭"	も兄	.据え、効≌	やいる維持	可官玛	を行って	101	I _o		
	とき計		修繕は、毎年	- 度必要と	ムリま 	9。																
		員会 事項																				

	No. 5 -	27 基本事務事業名	指定管理者	選定事務	事務事業	名 指定	管理者選定	事務	公的関与	2 シ	一卜作成日	平成24年	F7月5日
	部局名	総	務部	課名	企画課		主務課長名		吉田一夫	シー	·卜作成者名		家晴生
	事業区分	○ 1 ソフト事業					È·負担金·支	= +	美運営方法	✓ 1直			部委託
	争未匹力	○ 2 ハード事業		4 施設の維持管理	浬 ●	6 内部管	含理事務∙その)他 The state of the state of	建合刀仏		部委託		助等
		基本構想(政策)	該当なし				実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策)					1 該当	平月		~ 平/		✓ 期間	設定なし
		主要施策				O	2 非該当	根	拠法令等	地方自治	法		
		対象(誰を、 何を) 公の)施設の管理者	*									
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最終)		里者制度を導入する。 活用しつつ、市民サ						なし、公の方	他設の管理に	民間の能力	カやノウハウ
P L			年度										
ΑZ				いますか。(主なもの	の5つまで	7)							
Ν		指定管理者選	皇定委員会事務	务									
	事業の												
	活動内容												
		指標名	計算式	又は指標設定理由	単位		平成 22	年度	平成 23	年度	平成 24		最終目標
	数値目標	指定管理者導入施設数	ģ l			目標						7	
	(事業の目的					実績		43		10			
	及び活動内 容の達成度				H	目標							
	谷の達成度 を測る指標)					実績_							
	2,500 3 2 13.7				H	実績							
	予算費目	会 計			款	2 総務	2	項	1 総務管理	田弗	目 2	財産管理費	
	了开具口	云 미		22 年度決算	平成	23	年度決算	平成		±具 度予算 ┃		備考	
		国庫支出金		<u> </u>	1 /3/	20	千尺八升	1 13%	<u> </u>	千円		C thi	
		<u>口 / / / 口 显</u> 県 支 出 金		千円			千円			千円			
		// / 		千円			千円			千円			
D	直接事業費	その他特定財源		千円			千円			千円			
0		一 般 財 源		0 千円			31 千円			199 千円			
		計(A)		0 千円			31 千円			<mark>199</mark> 千円			
		正職員工数·経費	0.213 人	1,305 千円	0.213	人	1,287 千円	0.296	人 1,	<mark>765</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職種											
		臨時·嘱託工数·経費	0.000 人	0 千円	0.000 ,	人	0 千円	0.000 ,	人	0 千円			
	タ 休車 き	業費(A + B)		1,305 千円			1,318 千円		1	964 千円			

				チ	ェック項目					_	次評(価		_	一次評価	の説	明		二次	評価	
		1 .					が確保できる等 <u>ジ響は大きくた</u>		0	少ない	•	大き	l I	積極的に す。	推進する	必要	がありま	0	少ない	● 大きい	١
	必要	2 .	厳しい財政権	犬況の中、次	年度以降実	施す	「る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある						0	ない	ある	
	女性	3 .	住民満足度の「	句上のために、	現在の手段	3、方	法等の改善の	余地がある。	•	ある	0	ない		Ī				0	ある	ない	
		4 .		D低下がみら ごスとなって		[隣自	治体と比較し	J てニーズを	0	113	•) いな	l I					0	113	いない	١
		1.	施策の目的を	実現するため口	こ、事業内容	が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえな	,1 (いえる	3	積極的に	推進する	必要	がありま	0	いえない	● いえる	,
	有	2 .	事業内容のマン	ノネリ化など、	施策への貢	献度だ	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	,1 🔘	いえる	3	,				0	いえない	● いえる	,
С	効性	3 .	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	,1					0	する	● しない	١
HE		4 .	事業の継続を	をしても成果	の向上が期	待て	ごきない。		0	できなり	.1	できる	3					0	できない	● できる	,
C K		1 .	目標設定に対	付して進捗状	況が劣って	いる	らと思う。		0	目標に	比べて纟	劣ってい	3		の効果、調			0	目標に比	べて劣っている	3
	達世	2 .	目標設定に対	付して成果が	あまり上が	「って	いないと思う	٥.	0	あまり」	こがってし	ハない		り等人し	CV1\20'3	£13°00	76.90	0	あまり上が	っていない	
	成度	3 .	目標設定に対	付して概ね目	標を達成し	てし	ると思う。		•	概ね達	成してに	,1る						0	概ね達成	している	
		4 .	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	tして	いると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	している	
		1 .	効果に比べて	てコストが高	l I。				0	高い	•	適当	í		、により、[:サービス			0	高い	● 適当	
	効率	2 .	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		•	できる	0	でき7	ない		加率化が図			•	できる	○ できな	il I
	性	3 .	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施手	段等	を見直す余 均	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	● ない	
		4 .	電子化や契約	的方法の変更	などにより	コス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	● ない	
				_		次評										次評					
	評值	点面	必要性 3	有効性	達成原	臣	効率性 3	総合評	7価		必要		1	与 効性 4	達成	度		生	総	合評価	
	今後	きの しょうしん		•	状維持		<u>」 </u>	○ 民間委i	托等	(大·充	<u></u> 実	_ ┃			<u>う</u> 方法改	善		<u>^</u>	
Α		句性	_		終期設定		廃止/休止				縮		0	_	期設定		廃止/休	-			_
C				-								_	二次	評価での)指摘事	項及7	ゾー次評	価と	の相違点	Ţ	
TIO	当課	面の!題	指定管理者制 討をします。	削度の導入は	各所管課	で対り	応しているので	、導入できる旅	を設め		c 44	rm +-/ \			= 75 to TM (. 44-		ı. —.	^	/// I— da l l l —	
Z	改造	革案								#					■務処埋に 目的に沿					後において さい。	-
	と身	# 実行 画	今後も指定管 ます。	語理者制度を 関	算入する時に	は、指	定管理者選定	三委員会で検討	けしてい	いき		· · - •								-	
		員会 事項																			

	No. 5 -				各申請審査事務	事務事業	業名 入村			务 公的関与	2 シ	ート作成日 ^ュ	平成24年	
	部局名		総務部		課名	企画記	果	主務課長	名 :	吉田 一夫		- 卜作成者名		東明
	事業区分	○ 1 ソフト事		•	3 経常的事務事			金·負担金·支		運営方法		[営		:部委託
	争未匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部管	管理事務∙その)他 一 尹 未	连吕刀仏		-部委託	4 補	助等
		基本構想(政		当なし				実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策)				0	1 該当	平点		~ 平	成 年 📗	✓ <mark>期間</mark>	設定なし
		主要施策					<u> </u>	2 非該当	根	処法令等				
		対象(誰を、 何を)	入札参加	D申請書提	出業者									
		目的(どうい う状態にし -	最終的	申請書の	種類を審査し、名簿	節に登載し	ます。でき	きるだけ早い時	期に名簿を	確定したい。(目標は4	月中が望ましい	i.)	
P L		たいのか)			種類を審査し、名簿			簿確定時期が5	月中旬にな	いった。添付書	類の確認	、変更等があり	ました。	
AN					\ますか。(主なも		,							
Ν					査(1月中旬より受付	付開始予定	Ē)							
	事業の				載約263件									
	活動内容			帳票作成										
					中受付予定)									
					簿変更届け受付)			左京	Ti -1	- r	T-1	- r .	
		指標名	<u> </u>	計昇式〉	スは指標設定理由	単位		平成 22	牛臣	平成 23 4	中度	平成 24 名	丰度	最終目標
	数値目標			指標設定	こになじまないため		目標							
	(事業の目的 及び活動内						実績_						-	
	及び活動内 容の達成度						実績							
	を測る指標)			1			目標							
							実績							
	予算費目	会 計		一般	会計	款	2 総別	务費	項	1 総務管理	費	目 2 県	才産管理費	
			<u> </u>	² 成 2	2 年度決算	平成	23	年度決算	平成	24 年月	麦予算		備考	
		国庫支出	金		千円			千円			千円			
		県 支 出	金		千円			千円			千円			
	直接事業費	地 方	債		千円			千円			千円			
D	且汉于未具	その他特定財			千円			千円			千円			
0		一般財	源		911 千円			567 千円			76 千円			
		計(A)	7 - 110		911 千円			567 千円	2.22.1		<mark>76</mark> 千円			
	1 /4 # / 5 >	正職員工数・総		.500 人	3,063 千円	0.500	人	3,022 千円	0.204	1,2	<mark>16</mark> 千円			
	人件費(B)	臨時·嘱託職		000	0	0.000		0	0.000		0			
	会体事	臨時·嘱託工数·編 業費(A+B)	注算 ()	.000 人	0 千円 3,974 千円	0.000	<u> </u>	0 千円 3,589 千円			0 92 千円			
	土冲尹	未貝(ハTD)			3,974 十円			3,309 十円		1,7	サム 十円			

					チェ	ック項目						次評(THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE S		_	·次評価の	ノ草貝日	B		二次	並布	7
		1	古が宝施した	かくても			一性カ	「確保できる等	生他の実施					λ		の選定に						
		٠.						/ 響は大きくな		O	少ない	0	大きい		でまる		1 3 、火	or 9 ver se	O	少ない	•	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の中、	次年	度以降実	€施す	「る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある						0	ない	•	ある
	性	3 .	住民満足度の	向上のため	りに、ヨ	現在の手具	段、方	法等の改善の急	余地がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
	•	4 .	住民ニーズの上回るサー				「隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	เาอ	•	いない						0	113	•	いない
		1 .	施策の目的を	実現するだ	こめに、	事業内容	字が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえなり	1 0	いえる		、 札の公 です。	·平性を図る	るため	りに有効	0	いえない	•	いえる
	有	2 .	事業内容のマン	ンネリ化な	ど、旅	節策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなり	.1 🔘	いえる		- 9 ₀				0	いえない	•	いえる
С	効性	3 .	市が実施する	る施策の	中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない						0	する	•	しない
HE		4 .	事業の継続を	をしても	成果の	向上が期	持て	できない。		0	できなし	1 0	できる						0	できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に対	対して進	步状沉	が劣って	こいる	らと思う。		0	目標に	比べて纟	分っている			類審査等	を実済	色してい	0	目標に比り	べて劣	っている
•	達	2 .	目標設定に対	対して成り	果があ	まり上か	べって	いないと思う		0	あまり上	だってし	はい		きす。					あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に対	対して概	ね目標	を達成し	てし	ると思う。		0	概ね達								0 :	概ね達成	してい	გ
		4 .	目標設定に対	対して十分	分に目	標を達成	tして	いると思う。		•	十分達	成してに	13						•	十分達成	してい	გ
		1 .	効果に比べる	てコスト	が高い	١,				0	高川	•	適当			び近隣市にながら、より			0	高い	•	適当
	効変	2 .	他の実施主任	体のノウ	ハウヤ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できない			か検討して			0	できる	•	できない
	率性	3 .	予算・人員の	と成果の	関係で	、実施手	段等	手を見直す余 地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法の	変更な	どにより	コス	スト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
						_	次評	4価				•				_;	欠評	価				
	輕信	点面	必要性	有効	性	達成原	芰	効率性	総合評	′価		必要	性	有统	効性	達成度	ž	効率性	生	総	合評	′価
			4	4	TD (4		4	A DHE			4	L + r		4 TB 11	4	$\overline{}$	<u>4</u>	_		A	~ KF
		き 色性	○ 拡大・矛			だ維持 期設定	0	方法改善	〇 民間委託	七寺		<u>) 払.</u>) 縮.	大·充実		現状充合/終			方法改善 廃止/休		○ 民間	一	t寺
A	יונל	기표			口/於	知政化	\cup	廃止/ 水止					,	_		新設是 指摘事項				D相違占	<u> </u>	
T	44급	面の	1.入札参加				内の種	育無の確認						八口	<u>ш</u> с ол	门口门问于"		/ // // // // // // // // // // // // /	ЩС		1	
İ	課		2.参加者名																			
ō	H/I	,	3.申請書、注	ふ竹 青類(り間系	1七					.,		= 25 +1 /-	- 131-		 	· /- 	— == 75 kg	TI 4 /-			
Ν	改革	革案	1.法人税のみ	りの確認を	うってし	ハるが、他	脱にこ	ついても検討する	必要あり。			単広€	B 務執行	ר א'לל ז	かれて	います。継	続し	(事務処	埋を行	125 / 5	٠, ا ع	
	と事	ミ 行	2.全体の仕事 慮する必要が		た期間	間で行うに	は、人	、的支援が必要と	となります。資料	作成も	5考											
	計	画			更点を	わかりやす	√周⋟	日する必要あり。														
	委員 指摘	員会 事項																				

	No. 5 -	29 基本事務事	業名電	了入札事	务	事	務事業領	名 電子	了入札事和	务		1	公的関与	2	シート作り		平成24	年7月6日
	部局名		総務部		課名		企画課		主務認			吉田	一夫		′ート作成	者名	圠	反東 明
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				金·負担金		= -	4.温点	言方法		直営			全部委託
	争来匹力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	O 6	内部管	管理事務 ・		也 す	FÆF	3/]/4		一部委詢		4 7	補助等
		基本構想(政		当なし					実施計	画					業の開始			
	総合計画	基本計画(施	策)					0	1 該当		平月		17 年	~ 3	平成	年	☑ 期間	闘設定なし
		主要施策						O	2 非該当	<u> </u>	根	拠法	令等					
		対象(誰を、 何を)	建設工事	i 、測量・コ	ンサル業務入村	し参加業	者											
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし -	最終的	市内業者	が全員(工事、	委託、物	1品)電子	≧入札で	で処理でき	る。								
P L			今年度	平成24年	F度市内業者(_	[事、測	量コンサ	ル)が	全員電子	入札に勃	参加でき	る。						
ΑZ					\ますか。(主な		つまで)											
Ν					委託案件デー													
	事業の				礼情報の公表()			閲覧資	料、入札結	課)								
	活動内容	電子入札	システム	で開札処理	里(指名通知発行	污、開札	処理)											
		指標名	7 1	計算式又	ては指標設定理	由	位		平成	22 年	F.度	平	成 23	年度	平月	戊 24	年度	最終目標
	数値目標			指標設定	になじまないた	め		目標										
	(事業の目的							実績										
	及び活動内 容の達成度							目標										
	合の達成長 を測る指標)							実績										
	CM3 G 1 L IM							目標 実績										
	予算費目	会 計			소화			夫 傾 2 総 税	女弗		項	1 4	総務管理	田弗		2	財産管理質	"
	」/ 异貝口	云 引	<u> </u>	· 成 2		当 立	<u> </u>	23	^{ヵ貝} 年度決	笛	平成	24		ェ貝 度予算		1 2	備考	₹
		国庫支出		13%, 2		开 I 千円	13%	20		开 千円	1 17%	27			国電子人	. 札		
			金			- 1.3 千円				千円				ŦF	н H20· · ·	•••		
		地方	債			千円				千円				7.	ਜ਼ੀ H21•••	3261	牛	
D	直接事業費	その他特定財				千円				千円				千F	п H22•••	2761	牛	
Ō			源		1,826 =				2,250				2,	015 ↑ F	H23•••	•••2/21	Ŧ	. \
		計(A)			1,826				2,250					<mark>015</mark> 千F	— H /4••	2501	件(予定	<u>-</u>)
		正職員工数·紹	至費 1.	000 人	6,126	千円 2.	.000 人		12,089	千円	2.000	人	11,	<mark>922</mark> 千F	Ŧ			
	人件費(B)	臨時·嘱託職	種									•						
		臨時·嘱託工数·約	経費 0.	000 人	0 =		人 000				0.000 ,	人		<mark>0</mark> 千F	円			
	全体事業	業費(A + B)			7,952 =	千円			14,339	千円			13,	<mark>937</mark> 千F	ŋ			

					チェ	ック項目					_	次評值	<u> </u>		_	-次評価の	D説印	月		二次	評値	ī
		1 .						「確保できる等 「響は大きくな		0	少ない	•	大きい			(入札参加 会場にくる				少ない	0	大きい
	必要	2 .	厳しい財政	状況の中	、次年	度以降実	[施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある	ま	きせん。					ない	•	ある
	女性	3 .	住民満足度の	向上のた	めに、ヨ	現在の手段	设、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4 .	住民ニーズ(上回るサー				「隣自	治体と比較し	_ノ てニーズを	0	เาอ	•	いない						0	113	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	ために、	事業内容	学が必	ずしも適切と	はいえない。	0	いえない	1 0	いえる		、札の公 です。	平性を図	るため	りに有効	0	いえない	•	いえる
	有効	2 .	事業内容のマン	ンネリ化な	など、旅	延策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	1 •	いえる		- 9 0				0	いえない	•	いえる
C H	性	3 .	市が実施す	る施策の	中で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない						0	する	•	しない
Е		4 .	事業の継続	をしても	成果の	向上が期	得て	ぎきない。		0	できない	•	できる							できない	•	できる
C K		1 .	目標設定に	対して進	捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標に	上べて針	らっている			等様々な できていな			O 1	目標に比り	べて劣	っている
	達世	2 .	目標設定に	対して成	果があ	まり上が	べって	いないと思う	٥٠,	0	あまり上	がってい	ない	ま	₹す。これ	いからは順	次入	札範囲	0 8	あまり上が	ってい	ない
	成度	3 .	目標設定に	対して概	ね目標	を達成し	てし	ると思う。		0	概ね達	成してい	13	<u>ج</u>	拡大して	ていくつも	りです	0	O 1	概ね達成	してい	3
		4 .	目標設定に	対して十	分に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分達	成してい	13						•	十分達成	してい	3
		1 .	効果に比べ	てコスト	が高い	١.				0	高い	•	適当			と協議した				高い	•	適当
	効率	2 .	他の実施主	体のノウ	ハウヤ	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できない		ます。	/L J / X\ /	J 12 C	OCHAN	0	できる	•	できない
	性	3 .	予算・人員	と成果の	関係で	:、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
		4 .	電子化や契約	約方法の	変更な	さどにより	コス	く ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
							次評	** *									次評·					
	評值	点面	必要性	有效		達成原	芰		総合評	7価		必要	性		<u>効性</u> 4	達成原	麦	<u> </u>	生	総	合評	価
	今後	後の		-	·)現状	•			○ 民間委i	托等			 大·充実		<u>+ </u>		0	 方法改割			<u>へ</u> 引委記	〔 等
Α		自性				期設定		廃止/休止							充合/終			廃止/休				
C				-										次評	個での	指摘事項	及し	が一次評	価との	D相違点	Ī.	
TI	当直	題	1 . 発注者(抗 処理者が処理	旦当者)の 運できなく)、同日 ′かるた	の登録入め、発注を	、札案 考(扫	:件が大量に発 当者)の事前:	生する場合に チェックが必要	シスラ です	テム											
0	H/N	, NEZS	22672	± (C .&)		V) / JU/I	— ()—	- - 1	7 = 77 78 20 52	C , .		ナルキャ	·奋亚+\	亩双	加亚金	ニュナエキ						
Ν	改革	案	1.効率よ〈1	E確に短其	期間でタ	処理できる	るよう	に、事務改善が	が必要です。チ	ェック		さ続さ	適正は	争伤	処理で行	うって下さ	l 1 ₀					
	と国 計		シートの作成	等																		
		員会 事項																				